表２－３－２３　施設の構成

項目／区分	火葬だけ	火葬と待合	火葬と待合と葬儀	合計
回答数	14	270	94	378
割合%	3.7	71.4	24.9	100.0

【設問 25】主な施設の有無

1　火葬部門

1-1　炉室（火葬炉が設置された部屋）

炉室は、1 階が 99%である。

表２－３－２４　火葬炉室の位置

項目／区分	火葬炉室			合計
	１階	２階	地下２階	
回答数	374	3	1	378
割合%	98.9	0.8	0.3	100.0

1-2　機械室（排ガス処理装置等が設置された部屋）

機械室は、1 階、2 階が同程度（40%台）である。

表２－３－２５　機械室の位置

項目／区分	機械室				合計
	１階	２階	地下１階	複数階	
回答数	188	176	2	12	378
割合%	49.7	46.6	0.5	3.2	100.0

1-3　告別室（遺体と最後のお別れをする部屋）

告別室は、有りが 75%であり、1～2 室が 81%である。

表２－３－２６　告別室の有無

項目／区分	告別室			合計
	有り	無し	回答なし	
回答数	285	83	10	378
割合%	75.4	22.0	2.6	100.0

表２－３－２７　告別室の室数

項目／区分	告別室					回答なし	合計
	１室	２室	３室	４～５室	６室以上		
回答数	164	68	20	13	14	6	285
割合%	57.5	23.9	7.0	4.6	4.9	2.1	100.0

1-4　収骨室（火葬後、遺族等が焼骨を骨壷等に納める部屋）

収骨室は、有りが 80%であり、1～2 室が 80%である。

表２－３－２８　収骨室の有無

項目／区分	収骨室			合計
	有り	無し	回答なし	
回答数	302	60	16	378
割合%	79.9	15.9	4.2	100.0

表２－３－２９　収骨室の室数

項目／区分	収骨室					回答なし	合計
	１室	２室	３室	４～５室	６室以上		
回答数	134	106	27	19	9	7	302
割合%	44.4	35.1	8.9	6.3	3.0	2.3	100.0

2　待合室（火葬中に遺族等が待つ部屋）

待合室は、有りが 96%である。和室は 2 室が 42%で最も多く、次いで 1 室 28%である。洋室は 1 室が 37%で最も多く、次いで 2 室 18%である。

表２－３－３０　待合室の有無

項目／区分	待合室			合計
	有り	無し	回答なし	
回答数	364	14	0	378
割合%	96.3	3.7	0.0	100.0

表２－３－３１　待合室（和室）の室数

項目／区分	待合室（和室）					回答なし	合計
	１室	２室	３室	４～５室	６室以上		
回答数	65	98	32	29	8	1	233
割合%	27.9	42.1	13.7	12.4	3.4	0.4	100.0

表２－３－３２　待合室（洋室）の室数

項目／区分	待合室（洋室）					回答なし	合計
	１室	２室	３室	４～５室	６室以上		
回答数	86	43	21	30	51	4	235
割合%	36.6	18.3	8.9	12.8	21.7	1.7	100.0

3　式場（葬儀を行う部屋）

式場は、有りが 25%、無しが 75%であり、1 室が 55%、2 室が 20%である。

表２－３－３３　式場の有無

項目／区分	葬儀式場			合計
	有り	無し	回答なし	
回答数	94	284	0	378
割合%	24.9	75.1	0.0	100.0

表２－３－３４　式場の室数

項目／区分	式場					回答なし	合計
	１室	２室	３室	４～５室	６室以上		
回答数	52	19	11	7	5	0	94
割合%	55.3	20.2	11.7	7.4	5.3	0.0	100.0

【設問 26】施設の延命化のための部分改修として、次の内容は実施しましたか。（複数回答可）

照明の LED 化、屋根、屋上の防水修繕、トイレの洋式化が 40%前後で多くなっている。

表２－３－３５　施設の延命化のための部分改修

項目／区分	施設の延命化のための部分改修						回収数合計
	照明のＬＥＤ化	屋根、屋上の防水修繕	バリアフリー化対策	待合室の洋式化	トイレの洋式化	その他	
回答数	168	143	70	77	145	31	378
回収数に対する割合%	44.4	37.8	18.5	20.4	38.4	8.2	100.0

【設問 27】火葬場の休場日（条例等に定められた公休日）

1　休場日（令和 6 年度実績）の日数

令和 6 年度の休場日は平均 31 日であり、5 日以下が 45%で最も多く、次いで 31～60 日の 19%である。

表２－３－３６　休場日（令和 6 年度実績）の日数

区分＼項目	休場日
データ数	327
平均	30.7
最大	365
最小	0

表２－３－３７　休場日（令和 6 年度実績）の日数の分布

区分＼項目	5日以下	6～30日	31～60日	61～100日	101～200日	201日以上	回答なし	合計
回答数	169	29	71	47	7	4	51	378
割合%	44.7	7.7	18.8	12.4	1.9	1.1	13.5	100.0

2　休場日の内訳

休場日は年始が 88%と最も多く、次いで友引日の 42%である。

表２－３－３８　休場日の内訳

区分＼項目	休場日の規定がない	年末	年始	友引日	日曜日	祝祭日	お盆	その他	回収数合計
回答数	38	26	331	159	18	17	20	48	378
回収数に対する割合%	10.1	6.9	87.6	42.1	4.8	4.5	5.3	12.7	－

2-1、2　年末・年始の休場日

年末の休場日は 12 月 31 日が 100%であり、年始は 1 月 1 日が 99%である。

表２－３－３９　年末・年始の休場日

区分＼項目	年末				年始			
	12月29日	12月30日	12月31日	回収数	1月1日	1月2日	1月3日	回収数
回答数	7	7	26	26	328	130	75	331
回収数に対する割合%	26.9	26.9	100.0	－	99.1	39.3	22.7	－

2-3～5　友引日・日曜日・祝祭日の休場日

友引日は全てが 76%、日曜日は一部が 78%、祝祭日は一部が 59%、すべてが 41%である。

表２－３－４０　友引日・日曜日・祝祭日の休場日

項目／区分	友引日			日曜日			祝祭日		
	全ての友引日	友引日の一部	回収数	全ての日曜日	日曜日の一部	回収数	全ての祝祭日	祝祭日の一部	回収数
回答数	120	39	159	4	14	18	7	10	17
回収数に対する割合%	75.5	24.5	100.0	22.2	77.8	100.0	41.2	58.8	100.0

2-6　お盆の休場日

お盆は 8 月 16 日が 50%と最も多い。

表２－３－４１　お盆の休場日

項目／区分	お盆					回収数
	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日	8月17日	
回答数	5	2	6	10	6	20
回収数に対する割合%	25.0	10.0	30.0	50.0	30.0	100.0

【設問 28】火葬場の周辺環境は次のどれでしょうか。(複数回答可)

周辺環境は、山林が 66%で最も多く、次いで墓地 30%、農地 25%、住宅 23%である。

表２－３－４２　火葬場の周辺環境

項目／区分	墓地	山林	農地	住宅	工場	その他	合計
回答数	114	250	95	86	40	33	378
回収数に対する割合%	30.2	66.1	25.1	22.8	10.6	8.7	－

【設問 29】火葬場から最も近い住宅までの距離は次のどれに該当しますか。

最も近い住宅までの距離は 500m以上が 31%と最も多く、次いで 100～200m未満が 17%である。

表２－３－４３　火葬場から最も近い住宅までの距離

項目／区分	火葬場から最も近い住宅までの距離							合計
	50m未満	50～100m未満	100～200m未満	200～300m未満	300～500m未満	500m以上	回答なし	
回答数	44	44	63	44	54	118	11	378
割合%	11.6	11.6	16.7	11.6	14.3	31.2	2.9	100.0

【設問 30】現在の火葬場に対して周辺住民からの苦情は有りますか。

周辺住民からの苦情は、有りが 9%である。原因は、煤煙・黒煙が 56%と最も多く、次いで施設が古いが 34%である。

表２－３－４４　周辺住民からの苦情

項目／区分	周辺住民からの苦情		回答なし	合計
	有り	無し		
回答数	32	339	7	378
割合%	8.5	89.7	1.9	100.0

表２－３－４５　苦情の原因

項目／区分	悪臭	煤煙、黒煙	騒音、振動	交通公害	施設が古い	霊柩車の走行	その他	回収数
回答数	6	18	5	4	11	8	7	32
回収数に対する割合%	18.8	56.3	15.6	12.5	34.4	25.0	21.9	－

【設問 31】現在の火葬場に対して、建替え、部分改修の必要性はありますか。

建替え、部分改修について、必要があるが 58%であり、そのうち部分改修が 68%である。理由は、施設の老朽化が 90%である。施設の延命化のための部分改修の内容は、照明の LED 化が 77%、屋根、屋上の防水修繕が 74%で多く、次いでバリアフリー化対策の 31%である。

表２－３－４６　建替え、部分改修の必要性の有無

項目／区分	建替え、部分改修の必要性			合計
	必要がある	必要ない	回答なし	
回答数	219	150	9	378
割合%	57.9	39.7	2.4	100.0

表２－３－４７　必要がある場合の建替えか部分改修か

項目／区分	建替えか、部分改修か		合計
	建替え	部分改修	
回答数	71	148	219
割合%	32.4	67.6	100.0

表２－３－４８　建替えまたは部分改修の理由

項目／区分	建替えまたは部分改修の理由				回収数合計
	施設の老朽化	能力不足	故障が多く修理費がかさむ	その他	
回答数	197	18	41	21	219
回収数に対する割合%	90.0	8.2	18.7	9.6	－

表２－３－４９　施設の延命化のための部分改修の内容

項目／区分	施設の延命化のための部分改修の内容						回収数合計
	照明のＬＥＤ化	屋根、屋上の防水修繕	バリアフリー化対策	待合室の洋式化	トイレの洋式化	その他	
回答数	114	110	46	39	31	38	148
回収数に対する割合%	77.0	74.3	31.1	26.4	20.9	25.7	－

【設問 32】自治体（一部事務組合等を含む）の火葬場として過不足はありますか。

火葬場が不足しているとの回答は 15%であり、不足の理由は死亡者数の増加、施設の老朽化が 50%以上であり、その対応は新施設の検討が 32%、稼働日を増やすが 23%である。

表２－３－５０　自治体の火葬場として過不足の有無

項目／区分	自治体の火葬場として過不足の有無			合計
	不足していない	不足している	回答なし	
回答数	306	56	16	378
割合%	81.0	14.8	4.2	100.0

表２－３－５１　不足している理由

項目／区分	不足している理由			回答数合計
	死亡者数の増加	施設の老朽化	機能の劣化	
回答数	28	29	20	56
回答数に対する割合%	50.0	51.8	35.7	－

表２－３－５２　不足の場合の対応

項目／区分	不足の場合の対応				回答数合計
	増設の検討	新施設の検討	稼働日を増やす	その他	
回答数	8	18	13	18	56
回答数に対する割合%	14.3	32.1	23.2	32.1	－

第４節　火葬場の利用実績（令和６年度）

【設問 33】年間の火葬場の利用人数、利用目的別人数をお答えください。

年間の火葬場の利用人数、利用目的別人数は、平均で、管内が約 6,000 人、管外が約 350 人である。ただし、データ数が少なく、あまり集計されていないようである。

表２－４－１　年間の火葬場の利用人数、利用目的別人数

項目／区分	管内			
	ご遺体の火葬	動物の火葬	その他	利用者数計
データ数	196	45	93	182
平均	3,712.9	710.6	62.7	5,958.4
最大	94,224	5,650	1,457	137,882
最小	1	12	1	1

項目／区分	管外			
	ご遺体の火葬	動物の火葬	その他	利用者数計
データ数	136	23	39	125
平均	299.7	29.6	30.0	347.6
最大	6,878	123	553	6,878
最小	1	1	1	1

項目／区分	管内管外合計			
	ご遺体の火葬	動物の火葬	その他	利用者数計
データ数	200	45	93	192
平均	4,908.9	735.6	77.6	7,557.6
最大	129,101	5,650	1,501	137,882
最小	1	4	1	1

表２－４－２　年間の火葬場の利用人数の分布

項目／区分	管内利用者数						回答なし	合計
	500人以下	501～1,000人以下	1,001～3,000人以下	3,001～5,000人以下	5,001～10,000人以下	10,001人以上		
回答数	56	18	49	17	13	29	196	378
割合%	14.8	4.8	13.0	4.5	3.4	7.7	51.9	100.0
項目／区分	管外利用者数						回答なし	合計
	100人以下	101～200人以下	201～300人以下	301～400人以下	401～500人以下	501人以上		
回答数	72	15	10	4	2	22	253	378
割合%	19.0	4.0	2.6	1.1	0.5	5.8	66.9	100.0
項目／区分	管内管外合計利用者数						回答なし	合計
	500人以下	501～1,000人以下	1,001～3,000人以下	3,001～5,000人以下	5,001～10,000人以下	10,001人以上		
回答数	56	16	50	19	15	36	186	378
割合%	14.8	4.2	13.2	5.0	4.0	9.5	49.2	100.0

【設問 34】ご遺体の火葬件数、稼働日数等をお答え下さい。

火葬件数は、最大 15,000 件から最小 0 件までばらつきが大きい。管内管外を比較すると、管外が平均で 6.4%であり、1～5%が 47%で最も多い。なお、最大は 74%である。

回転数（1 日 1 炉当りの件数）は、0.6～1 回転が 48%で最も多く、次いで 1.1～1.5 回転が 21%である。なお、最大は 2.8 回件である。

稼働率は平均 48%であり、時間帯割合は 11～13 時 40%、13～15 時 32%と昼頃を中心に多い。

表２－４－３　火葬件数、稼働日数

項目／区分	火葬件数	管内	管外		1日あたり	稼働日あたり	稼動日数	回転数
		件数	件数	割合%				
データ数	361	357	347	353	378	334	341	334
平均	1,605	1,521	110	6.4	4.2	5.3	265.3	0.9
最大	15,319	13,781	2,055	73.9	42.0	45.1	365	2.8
最小	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0

表２－４－４　火葬件数のうち管外の割合

項目／区分	管外割合						合計
	0%	1～5%	6～10%	11～20%	21%以上	回答なし	
回答数	40	177	67	49	20	25	378
割合%	10.6	46.8	17.7	13.0	5.3	6.6	100.0

表２－４－５　回転数（1日1炉当りの火葬件数）

項目／区分	回転数（1日1炉火葬件数）						合計
	0.5回転以下	0.6～1回転	1.1～1.5回転	1.6～2回転	2.1回転以上	回答なし	
回答数	44	182	78	21	9	44	378
割合%	11.6	48.1	20.6	5.6	2.4	11.6	100.0

表２－４－６　稼働率、時間帯割合

項目／区分	稼動日数	年間稼働時間		稼働率%	時間帯割合				
		時間数	稼働可能時間数		9～11時%	11～13時%	13～15時%	15～17時%	その他%
データ数	341	229	230	224	249	235	239	180	13
平均	265.3	3,026	6,854	48	28.4	39.5	31.5	8.6	0.5
最大	365	165,215	524,160	100	100.0	100.0	100.0	34	2.0
最小	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0

【設問 35】動物炉の火葬件数、稼働日数等をお答え下さい。

動物炉の稼働日数は平均で 235 日、稼働率は 35.3%、1 日当り最大 3.5 件である。

表２－４－７　動物炉の稼働

項目／区分	動物炉火葬件数				稼動日数	年間稼働時間		稼働率%	1日あたりの最大受入件数
	火葬件数	管内	管外			時間数	稼働可能時間数		
		件数	件数	割合%					
データ数	86	82	77	78	70	46	45	43	44
平均	669	653	25	6.2	234.5	788	2,101	35.3	3.5
最大	2,853	2,853	387	72.3	365	7,785	25,840	100.0	15
最小	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0

第５節　火葬場の火葬炉設備（人体炉についてのみ）

【設問 36】保冷庫（ご遺体を火葬する前に冷やして保管する装置）についてお聞きします。

保冷庫は、有りが 35%、数量は平均 2.6 体分であり、最大 48 体分である。火葬までの待機日数は平均 3.3 日、最大 14 日である。

表２－５－１　保冷庫の有無

項目／区分	保冷庫			合計
	有り	無し	回答なし	
回答数	131	239	8	378
割合%	34.7	63.2	2.1	100.0

表２－５－２　火葬までの待機日数と保冷庫の数量

項目／区分	火葬までの待機日数	保冷庫数
データ数	77	127
平均	3.3	2.6
最大	14	48
最小	0.1	1.0

【設問 37】主燃焼炉についてお聞きします。

1　火葬１体当たりの平均燃焼時間は何分程度ですか。

火葬１体当たりの平均燃焼時間は、平均 65 分であり、51～60 分が 50%で最も多く、次いで 61～70 分が 15%である。

表２－５－３　火葬１体当たりの平均燃焼時間

項目	平均燃焼時間（分）
データ数	339
平均	65.0
最大	150
最小	30

表２－５－４　平均燃焼時間の分布

項目／区分	平均燃焼時間							合計
	50分以下	51～60分	61～70分	71～80分	81～90分	91分以上	回答なし	
回答数	38	190	57	17	19	18	39	378
割合%	10.1	50.3	15.1	4.5	5.0	4.8	10.3	100.0

2　前室（冷却室）は有りますか。(複数回答可)

2-1　平均的な冷却時間は何分程度ですか。

2-2　目安とする冷却温度は何℃程度ですか。

前室は、有りが 58%であり、基数が 5.5 基である。冷却時間は平均 19.9 分、11～15 分が 21%、10 分以下が 18%である。冷却温度は夏冬ともに 211℃である。

表２－５－５　前室の有無

項目／区分	前室（冷却室）				合計
	有り	無し	有り無し両方	回答なし	
回答数	220	135	2	21	378
割合%	58.2	35.7	0.5	5.6	100.0

表２－５－６　前室の有り無しの基数

項目／区分	基数	
	前室有り	前室無し
データ数	217	43
平均	5.5	3.9
最大	30	30
最小	1	1

表２－５－７　前室での冷却時間

項目	平均冷却時間（分）	冷却温度	
		夏期（℃）	冬期（℃）
データ数	236	144	143
平均	19.9	211.3	211.4
最大	110	500	500
最小	5.0	10	10

表２－５－８　前室での冷却時間の分布

項目／区分	平均冷却時間							合計
	10分以下	11～15分	16～20分	21～25分	26～30分	31分以上	回答なし	
回答数	67	78	38	9	23	21	142	378
割合%	17.7	20.6	10.1	2.4	6.1	5.6	37.6	100.0

3　主燃焼炉の型式は何ですか。(複数回答可)

4　台車式の場合、炉内台車の上面耐火材は分割式ですか。(複数回答可)

4-1　上面耐火材の種類は何ですか。

4-2　枢支持台の材質は何ですか。

5　ロストル式の場合、ロストルの材質は何ですか。

主燃焼炉の型式は台車式が 93%でほとんどであり、ロストル式は 7%である。

台車式の炉内台車の上面耐火材は、分割式でないが 44%、分割式が 39%である。上面耐火材の種類はキャスタブル耐火材が 80%である。枢支持台の材質はステンレス製が 41%、鉄製が 22%である。

ロストル式のロストルの材質はステンレス製が 52%である。

表２－５－９　主燃焼炉の型式

項目	主燃焼炉の型式		
	台車式	ロストル式	その他
データ数	351	27	7
平均	4.9	4.9	1.2
最大	30	12	2
最小	1	1	1

表２－５－１０　炉内台車の上面耐火材（台車式の場合）

項目 / 区分	炉内台車の上面耐火材				合計
	分割式	分割式でない	両方ある	回答なし	
回答数	149	168	9	25	351
割合%	39.4	44.4	2.4	6.6	92.9

表２－５－１１　上面耐火材の種類（台車式の場合）

項目 / 区分	上面耐火材の種類					合計
	キャスタブル耐火物	一般耐火レンガ	中性耐火レンガ	その他	回答なし	
回答数	280	44	1	5	21	351
割合%	79.8	12.5	0.3	1.4	6.0	100.0

表２－５－１２　枢支持台の材質（台車式の場合）

項目 / 区分	枢支持台の材質						合計
	ステンレス製	鉄製	耐火レンガ	カーボランダム製	その他	回答なし	
回答数	144	78	41	4	55	29	351
割合%	41.0	22.2	11.7	1.1	15.7	8.3	100.0

表２－５－１３　ロストルの材質（ロストル式の場合）

項目／区分	ロストルの材質				合計
	ステンレス製	鉄製	その他	回答なし	
回答数	14	7	6	0	27
割合%	51.9	25.9	22.2	0.0	100.0

6　主燃焼炉の使用燃料は何ですか。

6-1　主燃焼炉と再燃焼炉の燃料は同じですか。

主燃焼炉の使用燃料は、灯油が 80%と最も多く、次いで都市ガスの 15%である。

主燃焼炉と再燃焼炉の燃料が違うのは 1 件だけである。

表２－５－１４　主燃焼炉の使用燃料

項目／区分	主燃焼炉の燃料					合計
	灯油	重油	都市ガス	プロパンガス	回答なし	
回答数	303	2	55	9	9	378
割合%	80.2	0.5	14.6	2.4	2.4	100.0

表２－５－１５　主燃焼炉と再燃焼炉の燃料は同じか違うか

項目／区分	主燃焼炉と再燃焼炉の燃料			合計
	同じ	違う	回答なし	
回答数	365	1	12	378
割合%	96.6	0.3	3.2	100.0

※違うという 1 件は、主燃焼炉が灯油、再燃焼炉がプロパンガスである。

7　火葬 1 体当りの平均燃料使用量（主燃･再燃の合計）はどの程度ですか。

火葬 1 体当りの燃料使用量は、灯油が 53.0L、都市ガスが 37.3m^3 である。

表２－５－１６　燃料使用量

項目／区分	燃料使用量			
	灯油（L）	重油（L）	都市ガス（m^3）	プロパンガス（m^3）
データ数	190	85	8	55
平均	53.0	59.2	37.3	43.0
最大	250	300	47	86.5
最小	20	27.5	20.0	0.005

8　主燃焼炉の温度計は設置されていますか。

主燃焼炉の温度計は、設置しているが 69%である。

表２－５－１７　主燃焼炉の温度計の設置

項目／区分	主燃焼炉の温度計の設置			合計
	設置している	設置していない	回答なし	
回答数	259	87	32	378
割合%	68.5	23.0	8.5	100.0

9　火葬中のデレッキ操作（炉裏側の点検口からデレッキ棒を入れる）を行っていますか。

9-1　行っている場合、デレッキ操作の目的は何ですか。(複数回答可)

火葬中のデレッキ操作は、行っているが 73%であり、行っていないの 20%を上回っている。デレッキ操作の目的は、遺体の燃焼促進が 81%、副葬品等の除去が 51%である。

表２－５－１８　火葬中のデレッキ操作

項目／区分	火葬中のデレッキ操作			合計
	行っている	行っていない	回答なし	
回答数	275	76	27	378
割合%	72.8	20.1	7.1	100.0

表２－５－１９　デレッキ操作の目的

項目／区分	デレッキ操作の目的			回収数合計
	副葬品等の除去	遺体の燃焼促進	その他	
回答数	140	222	15	275
回収数に対する割合%	50.9	80.7	5.5	100.0

【設問 38】再燃焼炉についてお聞きします。

1　再燃焼炉は有りますか。(複数回答可)

2　再燃焼炉の容量、最大排ガス発生時での滞留時間を知っていますか。

2-1　容量は

2-2　最大排ガス発生時での滞留時間

3　再燃焼炉の温度計は設置されていますか。

4　再燃焼バーナは設置されていますか。

4-1　再燃焼バーナの点火はいつですか。

4-2　再燃焼バーナの消火はいつですか。

再燃焼炉は有りが 96%である。再燃焼炉の容量、滞留時間については、知らないが 58%で、知っているの 20%を大きく上回っている。容量は平均 2,6m³、滞留時間は平均 1.3 秒である。温度計は 85%が設置であり、バーナは 93%が設置である。バーナの点火は、主燃焼炉点火前が 68%、平均 5.2 分である。バーナの消火は、主燃焼炉消火後が 60%、平均 18 分である。

表２－５－２０　再燃焼炉の有無

項目／区分	再燃焼炉の有無			合計
	有り	無し	回答なし	
回答数	361	17	0	378
割合%	95.5	4.5	0.0	100.0

表２－５－２１　再燃焼炉の容量、滞留時間

項目／区分	再燃焼炉の容量、滞留時間					合計
	知っている	容量は知っているが、滞留時間は知らない	滞留時間は知っているが、容量は知らない	知らない	回答なし	
回答数	74	5	24	218	57	378
割合%	19.6	1.3	6.3	57.7	15.1	100.0

表２－５－２２　再燃焼炉の容量、滞留時間の数値

項目／区分	再燃焼炉の容量、滞留時間の数値	
	容量（m³）	滞留時間（秒）
データ数	71	99
平均	2.6	1.3
最大	7.33	3
最小	0.6	0.41

表２－５－２３　再燃焼炉の温度計の設置

項目／区分	再燃焼温度計の設置			合計
	設置	設置していない	回答なし	
回答数	308	26	27	361
割合%	85.3	7.2	7.5	100.0

表２－５－２４　再燃焼バーナの設置

項目／区分	再燃焼バーナの設置			合計
	設置	設置していない	回答なし	
回答数	335	3	23	361
割合%	92.8	0.8	6.4	100.0

表２－５－２５　再燃焼バーナの点火

項目／区分	再燃焼バーナの点火				合計
	主燃焼炉点火前	主燃焼炉点火後	主燃焼炉点火と同時	回答なし	
回答数	256	8	57	57	378
割合%	67.7	2.1	15.1	15.1	100.0

項目／区分	点火前時間（分）	点火後時間（分）
データ数	239	9
平均	5.2	8.1
最大	30	20
最小	0	1

表２－５－２６　再燃焼バーナの消火

項目／区分	再燃焼バーナの消火					合計
	主燃焼炉点火後	主燃焼炉消火前	主燃焼炉消火後	主燃焼炉消火と同時	回答なし	
回答数	228	27	14	47	62	378
割合%	60.3	7.1	3.7	12.4	16.4	100.0

項目／区分	点火前時間（分）	点火後時間（分）	点火後時間（分）
データ数	222	21	11
平均	18.4	19.9	15.8
最大	60	30	30
最小	1	1	0

【設問 39】排ガス処理装置についてお聞きします。

1　火葬炉と排ガス処理装置の関係はどれですか。

2　大規模災害時（非常時）を前提として、同時に運転できるのは何炉までですか。

3　排ガスの排気方式は何ですか。(複数回答可)

4　排ガス冷却装置は有りますか。

4-1　有りの場合、排ガス冷却装置１基につき再燃焼炉＿＿＿＿＿＿基が対応している。

4-2　排ガス冷却装置の方式は何ですか。（複数回答可）

5　集じん装置は有りますか。

5-1　有りの場合、その型式は何ですか。（複数回答可）

5-2　集じん装置における排ガス温度は何℃で管理していますか。

5-3　その温度測定箇所はどこですか。集じん装置の前ですか、後ですか。

5-5　集じん装置の清掃は誰が行いますか。

6　集じん装置の後に高度排ガス処理装置が有りますか。

6-1　「有り」の場合、その方式は何ですか。（複数回答可）

火葬炉と排ガス処理装置の関係は、各炉が単独に火葬できるが 50%、単独に火葬できないが 33%である。大規模災害時（非常時）に同時運転できる炉数は平均 3.5 基である。排ガスの排気方式は強制排気方式が 79%である。排ガス冷却装置は、有りが 68%、無しが 25%である。排ガス冷却装置の再燃焼炉との対応は、排ガス冷却装置１基につき対応できる再燃焼炉は平均 1.9 基である。

排ガス冷却装置の方式は、空気混合希釈方式が 81%、水冷式熱交換方式が 20%である。集じん装置は、有りが 69%、無しが 26%である。集じん装置の型式は、バグフィルタが 47%、バグ以外のフィルタ方式が 24%、電気集じん器が 8%、マルチサイクロンが 7%である。集じん装置の温度管理は、平均温度 223℃である。

集じん装置の後の高度排ガス処理装置は、有りが 26%、無しが 71%であり、方式は触媒が 94%、活性炭吸着が 4%である。

表２－５－２７　火葬炉と排ガス処理装置の関係

項目／区分	火葬炉と排ガス処理装置の関係				合計
	各炉が単独に火葬できる	各炉が単独に火葬できない	分からない	回答なし	
回答数	190	125	26	37	378
割合%	50.3	33.1	6.9	9.8	100.0

表２－５－２８　大規模災害時（非常時）に同時運転できる炉数

項目／区分	大規模災害時（非常時）に同時に運転できる炉数
データ数	321
平均	3.5
最大	29
最小	1

表２－５－２９　排ガスの排気方式

項目／区分	排ガスの排気方式				合計
	強制排気方式	自然排気方式	その他	回答なし	
回答数	297	40	7	34	378
割合%	78.6	10.6	1.9	9.0	100.0

項目／区分	強制排気方式炉数	自然排気方式炉数	その他炉数
データ数	286	36	7
平均	4.2	2.3	3.3
最大	30	6	8
最小	1	1	1

表２－５－３０　排ガス冷却装置の有無

項目／区分	排ガス冷却装置の有無			合計
	有り	無し	回答なし	
回答数	255	95	28	378
割合%	67.5	25.1	7.4	100.0

表２－５－３１　排ガス冷却装置の再燃焼炉との対応

項目／区分	排ガス冷却装置1基につき対応できる再燃焼炉数
データ数	226
平均	1.9
最大	12
最小	1

表２－５－３２　排ガス冷却装置の方式

項目／区分	排ガス冷却方式				対象施設数
	空気混合希釈方式	水冷式熱交換方式	空冷式熱交換方式	その他	
回答数	207	2	51	11	255
割合%	81.2	0.8	20.0	4.3	－

項目／区分	空気混合希釈炉数	水冷式熱交換炉数	空冷式熱交換炉数	その他炉数
データ数	199	2	42	4
平均	4.2	1.0	4.7	4.7
最大	30	1	30	6
最小	1	1	1	3

表２－５－３３　集じん装置の有無

項目／区分	集じん装置の有無			合計
	有り	無し	回答なし	
回答数	262	97	19	378
割合%	69.3	25.7	5.0	100.0

表２－５－３４　集じん装置の型式

項目／区分	集じん装置の型式					対象施設数
	バグフィルタ	電気集じん器	マルチサイクロン	バグ以外のフィルタ方式	その他	
回答数	120	21	17	60	46	262
割合%	47.1	8.2	6.7	23.5	18.0	－

項目／区分	バグフィルタ基数	電気集じん器基数	マルチサイクロン基数	バグ以外のフィルタ方式基数	その他基数
データ数	119	15	18	58	43
平均	4.2	3.1	4.5	3.3	3.3
最大	30	6	10	16	16
最小	1	1	1	1	1

表２－５－３５　集じん装置の温度管理

項目／区分	集じん装置における排ガス温度の管理
データ数	186
平均	222.7
最大	560
最小	20

表２－５－３６　集じん装置の温度の測定箇所

項目／区分	集じん装置の温度測定箇所			合計
	装置の前	装置の後	回答なし	
回答数	146	62	54	262
割合%	55.7	23.7	20.6	100.0

表２－５－３７　集じん装置の清掃の頻度

項目／区分	集じん装置の清掃実施者				合計
	専門業者	火葬場管理職員	その他	回答なし	
回答数	161	49	39	13	262
割合%	61.5	18.7	14.9	5.0	100.0

表２－５－３８　集じん装置の後の高度排ガス処理装置の有無

項目／区分	集じん装置の後の高度排ガス処理装置			合計
	有り	無し	回答なし	
回答数	68	185	9	262
割合%	26.0	70.6	3.4	100.0

表２－５－３９　高度排ガス処理装置の方式

項目／区分	高度排ガス処理装置の方式				対象施設数
	触媒	活性炭吸着	湿式洗浄	その他	
回答数	64	3	2	2	68
割合%	94.1	4.4	2.9	2.9	100.0

【設問 40】排気筒（煙突）についてお聞きします。

排気筒は、平均 3.3 本、GL から 10.8mである。

表２－５－４０　煙突の数量と高さ

項目／区分	煙突	
	数量（本）	GLからの高さ（m）
データ数	348	270
平均	3.3	10.8
最大	30	30
最小	1	1

【設問 41】排ガスの測定は行っていますか。(複数回答可)

排ガス測定は、ダイオキシン類が 32%、ばいじん等が 23%であるが、まったく行っていないが 34%、施設完成時のみが 19%である。

表２－５－４１　排ガスの分析の実施

項目／区分	排ガスの分析の実施						回収施設数
	ダイオキシン類	水銀・六価クロム	ばいじん等	施設完成時のみ	全く行っていない	その他	
回答数	119	22	85	71	130	28	378
割合%	31.5	5.8	22.5	18.8	34.4	7.4	100.0

第６節　残骨灰、集じん灰等の処理

【設問 42】残骨灰と集じん灰を分別していますか。

残骨灰と集じん灰の分別は、分別しているが 46%、分別していないが 50%である。

表２－６－１　残骨灰と集じん灰の分別

項目／区分	残骨灰と集じん灰の分別			合計
	分別している	分別していない	回答なし	
回答数	172	188	18	378
割合%	45.5	49.7	4.8	100.0

【設問 43】残骨灰、集じん灰の発生量を把握していますか。

1　把握している場合、それぞれの発生量をお答え下さい。

残骨灰、集じん灰の発生量の把握は、把握しているが 43%、把握していないが 53%である。把握している発生量は、残骨灰が 5,980kg/年、集じん灰が 917 kg/年である。

表２－６－２　残骨灰と集じん灰の発生量の把握

項目／区分	残骨灰、集じん灰の発生量の把握			合計
	把握している	把握していない	回答なし	
回答数	162	202	14	378
割合%	42.9	53.4	3.7	100.0

表２－６－３　把握している残骨灰と集じん灰の発生量

項目／区分	把握している発生量（kg/年）	
	残骨灰	集じん灰
データ数	129	47
平均	5,980.2	917.0
最大	99,821.0	6,853.6
最小	31.5	10.0

【設問 44】残骨灰はどのように処理処分していますか。

1　「専門業者に委託している」場合、処理処分状況の確認はしていますか。

2　専門業者の選考方法は何ですか。

2-1　委託費用は有償ですか、無償ですか。

2-2　有償の場合の金額はどのようですか。

3　含有する有価物についてはどのようにしていますか。

残骨灰の処理処分方法は、専門業者に委託が 79%である。確認方法は、書面で確認が 65%で最も多く、次いで工場、処分地まで確認が 22%である。専門業者の選考方法は、随意契約が 45%、競争入札が 32%である。専門業者の委託費用は有償、無償いずれも 50%である。有償の金額は、入札の最低価格が 24%、1 円が 19%である。有価物への対応は、委託費用に含まれると考え未返納が 44%、含まれる相当額が分からないので未返納が 19%であり、相当額を返納は 18%である。

表２－６－４　残骨灰の処理処分方法

項目／区分	残骨灰の処理処分				合計
	専門業者に委託	自ら処理	その他	回答なし	
回答数	298	6	62	12	378
割合%	78.8	1.6	16.4	3.2	100.0

表２－６－５　専門業者に委託している場合の処理処分状況の確認方法

項目／区分	専門業者に委託の場合の確認					合計
	工場、処分地まで確認	工場は確認、処分地は未確認	書面で確認	確認していない	その他	
回答数	72	9	208	20	12	321
割合%	22.4	2.8	64.8	6.2	3.7	100.0

表２－６－６　専門業者の選考方法

項目／区分	専門業者の選考方法			合計
	競争入札	随意契約	その他	
回答数	96	136	71	303
割合%	31.7	44.9	23.4	100.0

表２－６－７　専門業者の委託費用

項目／区分	専門業者の委託費用		合計
	有償	無償	
回答数	151	152	303
割合%	49.8	50.2	100.0

表２－６－８　有償の場合の金額

項目／区分	有償の場合の金額				対象回答数
	入札の最低価格を設定	１円	その他	回答なし	
回答数	36	29	81	5	151
割合%	23.8	19.2	53.6	3.3	100.0

表２－６－９　有価物への対応

項目／区分	専門業者の委託費用					対象回答数
	相当額を返納	委託費に含まれると考え未返納	含まれる相当額が分からないので未返納	その他	回答なし	
回答数	27	66	29	25	4	151
割合%	17.9	43.7	19.2	16.6	2.6	100.0

【設問 45】「残骨灰を自ら処理している」場合、処理方法は何ですか。

残骨灰を自ら処理している場合の処理方法は、そのまま埋立が 83%である。

表２－６－１０　残骨灰を自ら処理している場合の処理方法

項目／区分	残骨灰を自ら処理の場合の処理方法					合計
	安定化処理	高温処理	そのまま埋立	その他	回答なし	
回答数	0	0	5	1	0	6
割合%	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	100.0

【設問 46】集じん灰はどのように処理処分していますか。

1　「専門業者に委託している」場合、処理処分状況の確認はしていますか。

2　委託費用はどのようにしていますか。

集じん灰の処理処分は、専門業者に委託が 68%である。専門業者に委託している場合の処理処分状況の確認方法は、書面で確認が 62%、工場まで確認が 16%であるが、確認していないが 14%になっており、残骨灰より意識が低いと思われる。集じん灰処理の委託費用は、処分料に含むが 72%である。

表２－６－１１　集じん灰の処理処分

項目／区分	集じん灰の処理処分				合計
	専門業者に委託	自ら処理処分	その他	回答なし	
回答数	255	6	64	53	378
割合%	67.5	1.6	16.9	14.0	100.0

表２－６－１２　専門業者に委託している場合の処理処分状況の確認

項目／区分	専門業者に委託の場合の確認					合計
	工場まで確認	書面で確認	確認していない	その他	回答なし	
回答数	41	158	36	13	7	255
割合%	16.1	62.0	14.1	5.1	2.7	100.0

表２－６－１３　集じん灰処理の委託費用

項目／区分	集じん灰処理の委託費用				合計
	処分料に含む	処分料と別に支払う	その他	回答なし	
回答数	183	12	57	3	255
割合%	71.8	4.7	22.4	1.2	100.0

【設問 47】「集じん灰を自ら処理している」場合、処理方法は何ですか。

集じん灰を自ら処理している場合の処理方法は、そのまま埋立が 50%である。

表２－６－１４　集じん灰を自ら処理している場合の処理方法

項目／区分	集じん灰を自ら処理の場合の処理方法					合計
	安定化処理	高温処理	そのまま埋立	その他	回答なし	
回答数	0	0	3	3	0	6
割合%	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0

【設問 48】残骨灰、集じん灰の分析は行っていますか。(複数回答可)

残骨灰、集じん灰の分析は、委託業者の分析が 23%であるが、全く行っていないが 55%である。

表２－６－１５　残骨灰、集じん灰の分析

項目／区分	残骨灰、集じん灰の分析の実施						回収施設数
	ダイオキシン類	六価クロム	委託業者が分析	全く行っていない	その他	回答なし	
回答数	28	20	88	209	18	15	378
割合%	7.4	5.3	23.3	55.3	4.8	4.0	100.0

第７節　風習、慣習等について

【設問 49】葬儀の流れの中で、告別式と火葬の順序はどのようですか。

告別式と火葬の順序は、告別式が先が 63%、火葬が先が 11%、どちらもあるが 23%である。

表２－７－１　告別式と火葬の順序

項目／区分	告別式と火葬の順序					合計
	告別式が先	火葬が先	どちらもある	その他	回答なし	
回答数	237	42	86	3	10	378
割合%	62.7	11.1	22.8	0.8	2.6	100.0

【設問 50】火葬後に収骨する際に、遺骨を乗せておく容器は何ですか。

火葬後に収骨する際に、遺骨を乗せておく容器は、台車・骨受け皿が 77%、収骨専用トレイが 16%、どちらもあるが 1%である。

表２－７－２　収骨する際の遺骨を乗せておく容器

項目／区分	火葬後の遺骨を乗せておく容器					合計
	台車・骨受け皿	収骨専用トレイ	どちらもある	その他	回答なし	
回答数	292	62	5	2	17	378
割合%	77.2	16.4	1.3	0.5	4.5	100.0

【設問 51】火葬後の収骨方法に大きく 2 通りの方法がありますが、どちらですか。

火葬後の収骨方法は、全部収骨が 54%、部分収骨が 27%、どちらもあるが 14%である。

表２－７－３　火葬後の収骨方法

項目／区分	火葬後の収骨方法					合計
	全部収骨	部分収骨	どちらもある	その他	回答なし	
回答数	204	102	51	6	15	378
割合%	54.0	27.0	13.5	1.6	4.0	100.0

第８節　火葬場の整備費

【設問 52】整備工事の内容はどれに該当しますか。

1　整備工事の概算工事費をお聞かせ下さい。

2　財源についてお聞かせ下さい。

整備工事の内容は、他の敷地に新設と同じ敷地内に新設がどちらも 26%であり、改築が 14%、火葬炉の入替が 13%である。概算工事費は平均 14 億 6 千万円である。この財源は、平均で、起債が 12 億円、一般財源が 4 億 2 千万円、補助金が 2 億円である。

表２－８－１　整備工事の内容

区分／項目	他の敷地に新設	同じ敷地内に新設	増築	改築	火葬炉の入替	その他	合計
回答数	24	24	4	13	12	15	92
割合%	26.1	26.1	4.3	14.1	13.0	16.3	100.0

表２－８－２　整備工事の概算工事費

区分／項目	総工事費	内訳		
		用地費	建物工事費	火葬炉関連工事費
回答数	72	18	51	51
平均（千円）	1,463,732	735,227	1,156,407	417,776
最高（千円）	17,204,988	6,115,763	8,037,240	4,686,120
最低（千円）	3,039	8,180	3,039	7,766

表２－８－３　整備工事費の財源

区分／項目	起債	一般財源	補助金	その他
回答数	43	55	5	12
平均（千円）	1,205,008	424,640	204,747	339,570
最高（千円）	10,813,048	6,391,940	544,134	1,328,458
最低（千円）	2,446	36	3,000	30,500

第９節　火葬場の収入、支出（令和６年度実績でご記入下さい。）

【設問 53】年間の火葬手数料、施設使用料等の収入額はいくらですか。

いずれも平均で、火葬手数料は 10 億 2 千万円、施設利用料は 20 億 3 千万円である。

【設問 54】年間の支出額合計はいくらですか。

【設問 55】設問 54 の支出額の内訳をお聞かせ下さい。

いずれも平均で、支出額合計は 9 億 9 千万円、内訳は、人件費・委託費が 3 億 3 千万円、燃料費が 5,600 万円、修理費が 4,500 万円、保守点検費が 1,200 万円、管理費が 5 億 6 千万円、公債費が 2,500 万円、その他が 6,000 万円である。

【設問 56】設問 54 の支出額に対する一般会計からの費用負担額はいくらですか。

いずれも平均で、負担額は 20 億円、支出額に対する一般会計からの費用負担額の割合は 87%である。

表２－９－１　年間の火葬手数料、施設使用料等の収入額（令和６年度実績）

区分／項目	火葬手数料		
	管内	管外	小計
回答数	261	268	290
平均（千円）	747,809	374,544	1,019,158
最高（千円）	22,997,450	43,800,000	58,985,000
最低（千円）	3	5	5
区分／項目	施設利用料		
	管内	管外	小計
回答数	134	89	137
平均（千円）	1,905,976	262,605	2,034,837
最高（千円）	141,987,050	14,593,400	144,285,770
最低（千円）	1	3	1
区分／項目	合計		
	管内	管外	小計
回答数	291	286	309
平均（千円）	1,548,381	432,691	1,858,668
最高（千円）	164,984,500	58,393,400	169,126,220
最低（千円）	3	5	5

表２－９－２　年間の支出額合計及び内訳（令和 6 年度実績）

区分／項目	支出額合計【Ａ】	支出額の内訳		
		人件費・委託料	燃料費	修理費
回答数	315	312	274	272
平均（千円）	986,006	331,815	56,084	45,391
最高（千円）	134,339,872	54,971,840	6,328,555	3,746,059
最低（千円）	295	17	22	5

区分／項目	支出額の内訳			
	保守点検費	管理費	公債費	その他支出額
回答数	230	260	28	123
平均（千円）	11,970	562,160	25,386	60,146
最高（千円）	1,188,000	106,691,526	126,699	2,358,592
最低（千円）	24	16	4	11

表２－９－３　支出額に対する一般会計からの費用負担額

区分／項目	一般会計負担額	
	負担額【Ｂ】	Ｂ／Ａ %
回答数	300	285
平均（千円）	2,000,019	87.1
最高（千円）	332,559,093	100.0
最低（千円）	295	0.1

第 10 節　火葬手数料、施設利用料

【設問 57】管内利用者の火葬手数料は有料ですか、無料ですか。

【設問 58】管外利用者の火葬手数料は有料ですか、無料ですか。

管外の火葬手数料は、有料が 82.5%、無料が 17.5%であり、平均で大人 14,291 円、小人 8,903 円である。なお、大人小人の区分は 12.2 歳である。

管外の火葬手数料は、有料が 98.4%、記載なしが 1.6%である。記載なしは管外からの火葬がないということである。火葬手数料は、平均で大人 46,427 円、小人 29,898 円である。なお、大人小人の区分は管内と同様に 12.2 歳である。

表２－１０－１　管内利用者の火葬手数料の有料、無料

項目／区分	管内利用料金			合計
	有料	無料	記載なし	
回答数	312	66	0	378
割合%	82.5	17.5	0.0	100.0

表２－１０－２　管内利用者の火葬手数料

区分／項目	管内利用料金						
	大人	大人小人区分(歳)	小人	死産児	汚物	身体の一部	動物
回答数	309	293	304	297	192	290	78
平　均	14,291	12.2	8,903	4,880	3,392	4,247	7,872
最　高	90,000	16	51,000	30,000	20,000	20,000	53,000
最　低	2,000	5	400	800	100	100	700

表２－１０－３　管外利用者の火葬手数料の有料、無料

項目／区分	管外利用料金			合計
	有料	無料	記載なし	
回答数	372	0	6	378
割合%	98.4	0.0	1.6	100.0

表２－１０－４　管外利用者の火葬手数料

区分／項目	管外利用料金						
	大人	大人小人区分(歳)	小人	死産児	汚物	身体の一部	動物
回答数	373	351	370	361	215	323	64
平　均	46,427	12.2	29,898	17,669	11,688	14,420	21,346
最　高	120,000	16	78,000	76,000	60,000	80,000	100,000
最　低	5,000	5	3,000	1,800	130	200	2,510

【設問 59】施設利用料

1　待合室

待合室の利用料は、有料が 27.2%、無料が 69.0%であり、料金は平均で、管内が 7,713 円、管外が 13,487 円である。

表２－１０－５　待合室の有料、無料

項目／区分	待合室料金			合計
	有料	無料	記載なし	
回答数	103	261	14	378
割合%	27.2	69.0	3.7	100.0

表２－１０－６　待合室の料金

区分／項目	待合室	
	管内	管外
回答数	98	97
平均	7,713	13,487
最高	74,360	148,720
最低	500	800

2　霊安室、保冷庫、保管料等

霊安室、保冷庫の利用料は、有料が 36.0%、無料が 19.8%であり、料金は平均で、管内が 3,860 円、管外が 9,411 円である。

表２－１０－７　霊安室の有料、無料

項目／区分	霊安室料金			合計
	有料	無料	記載なし	
回答数	136	75	167	378
割合%	36.0	19.8	44.2	100.0

表２－１０－８　霊安室の料金

区分／項目	霊安室	
	管内	管外
回答数	128	121
平均	3,860	9,411
最高	20,000	62,120
最低	0	100

3　葬儀式場

葬儀式場の利用料は、有料が 96.0%、無料が 0%であり、料金は平均で、管内が 50,442 円、管外が 93,513 円である。

表２－１０－９　葬儀式場の有料、無料

項目／区分	葬儀式場料金			合計
	有料	無料	記載なし	
回答数	97	0	4	101
割合%	96.0	0.0	4.0	100.0

表２－１０－１０　葬儀式場の料金

区分／項目	葬儀式場	
	管内	管外
回答数	96	83
平　均	50,442	93,513
最　高	286,000	502,730
最　低	1,000	2,000

【設問 60】火葬使用料の在り方についての考え方をお聞かせください。

「これまでの経緯もあるので、相当の経費を一般会計で負担するのが妥当」が 40%、「必要な経費に見合った料金を利用者に支払っていただく」が 38%である。

【設問 61】管外利用者の料金についての考え方をお聞かせください。

「管外の方の使用をできるだけ避けてもらうという意味で、相当程度高くしてもよい」が 59%、「妥当な料金の設定の考え方を決めるべき」が 11%である。

【設問 62】火葬使用料について原価計算を行っていますか。

「原価計算を行っている」が 24%であり、「原価計算を行っていない」の 43%を下回っている。

【設問 63】原価計算を行った場合、火葬使用料はどの程度となりますか。

原価計算を行った場合の金額は、30,000 円以上 50,000 円未満が 31%、次いで 50,000 円以上 70,000 円未満が 18%である。

【設問 64】火葬使用料見直しの考えはありますか。

火葬使用料見直しの考えについては、「火葬使用料の見直しを考えていない」が 52%、「火葬使用料の見直しを考えている」の 28%を上回っている。

【設問 65】火葬使用料見直しの時期はいつ頃と考えていますか。

火葬使用料見直しの時期については、「現在検討中数年後に」が 10%であるが、「分からない」、「回答なし」を合わせると 74%に達する。

表２－１０－１１　火葬使用料の在り方

区分／項目	必要な経費に見合った料金を利用者に支払っていただくのがよい。	低所得者のことを考慮し、設備費などは一般会計で負担した方がよい。	これまでの経緯もあるので、相当の経費を一般会計で負担するのが妥当である。	その他	回答なし	合計
回答数	144	25	152	29	28	378
割合%	38.1	6.6	40.2	7.7	7.4	100.0

表２－１０－１２　管外利用者の料金についての考え方

区分／項目	火葬場は、住民の税金で作られた施設であるので、管外の方の使用をできるだけ避けてもらうという意味で、相当程度高くしてもよい。	管外の方の料金については、管内の方の料金よりあまり高くするのはよくない。妥当な料金の設定の考え方を決めるべきである。	その他	回答なし	合計
回答数	224	40	73	41	378
割合%	59.3	10.6	19.3	10.8	100.0

表２－１０－１３　火葬使用料について原価計算

区分／項目	原価計算を行っている	原価計算を行っていない	分からない	回答なし	合計
回答数	92	163	98	25	378
割合%	24.3	43.1	25.9	6.6	100.0

表２－１０－１４　原価計算を行った場合の火葬使用料

区分／項目	10,000円未満	10,000円以上～30,000円未満	30,000円以上～50,000円未満	50,000円以上～70,000円未満	70,000円以上～90,000円未満	90,000円以上	合計
回答数	12	14	26	15	8	8	83
割合%	14.5	16.9	31.3	18.1	9.6	9.6	100.0

表２－１０－１５　火葬使用料見直しの考え

区分／項目	火葬料金の見直しを考えている	火葬料金の見直しを考えていない	分からない	回答なし	合計
回答数	104	197	53	24	378
割合%	27.5	52.1	14.0	6.3	100.0

表２－１０－１６　火葬使用料見直しの時期

区分／項目	火葬場(火葬炉)新築(更新)の後	できるだけ早急に	現在検討中数年後に	分からない	その他	回答なし	合計
回答数	21	6	39	61	34	217	378
割合%	5.6	1.6	10.3	16.1	9.0	57.4	100.0

第 11 節　大規模災害時の火葬炉の運転

【設問 66】災害時対応指針（事業継続計画等）は策定していますか。

災害時対応指針（事業継続計画等）の策定については、策定しているが 32%、策定していないが 57%である。

表２－１１－１　災害時対応指針（事業継続計画等）の策定

項目／区分	災害時対応指針（事業継続計画等）の策定				合計
	策定している	策定していない	その他	回答なし	
回答数	120	217	14	27	378
割合%	31.7	57.4	3.7	7.1	100.0

【設問 67】職員の災害時に備えた定期的な訓練を実施していますか。

職員の災害時に備えた定期的な訓練の実施については、実施しているが 33%、実施していないが 60%である。

表２－１１－２　災害時に備えた定期的な訓練の実施

項目／区分	災害時に備えた定期的な訓練の実施				合計
	実施している	策定していない	その他	回答なし	
回答数	124	219	14	21	378
割合%	32.8	57.9	3.7	5.6	100.0

第 12 節　火葬場の運営管理、職員数、休日等

【設問 68】火葬場の運営管理形態は次のどれに該当しますか。

火葬場の運営管理形態は、一部委託が 31%で最も多く、次いで指定管理者の 29%、全面委託 18%、直営 17%である。

表２－１２－１　火葬場の運営管理形態

項目／区分	火葬場の運営形態							合計
	直営	全面委託	一部委託	指定管理者	ＰＦＩ	その他	回答なし	
回答数	65	66	117	109	7	3	11	378
割合%	17.2	17.5	31.0	28.8	1.9	0.8	2.9	100.0

【設問 69】火葬場の職員数、種別（直営、委託、嘱託）

火葬場の職員数は、合計で総数 7.6 人、直営 4.0 人、委託 7.0 人、嘱託 3.2 人である。火葬業務では総数 4.3 人、直営 3.5 人、委託 4.3 人、嘱託 2.3 人である。管理業務では総数 3.4 人、直営 2.7 人、委託 3.3 人、嘱託 2.7 人である。サービス業務では総数 5.2 人、直営 2.8 人、委託 5.4 人、嘱託 2.7 人である。

表２－１２－２　火葬場の職員数

項目／区分	合計				火葬業務			
	総数	直営	委託	嘱託	総数	直営	委託	嘱託
データ数	342	112	263	30	328	61	259	14
平均	7.6	4.0	7.0	3.2	4.3	3.5	4.3	2.3
最大	94	28	94	10	50	18	50	5
最小	1	1	1	1	1	1	1	1

項目／区分	管理業務				サービス（湯茶等）				その他
	総数	直営	委託	嘱託	総数	直営	委託	嘱託	
データ数	299	105	189	26	75	6	63	5	30
平均	3.4	2.7	3.3	2.7	5.2	2.8	5.4	2.4	3.2
最大	27	9	34	10	51	8	51	6	10
最小	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【設問 70】現在の職員体制で、火葬作業（炉裏での火葬炉操作）ができる職員数は何人ですか。

1　上記の火葬作業ができる職員のうち、火葬技術を統括的に管理できる人はいますか。

火葬作業ができる職員数は、平均 4.0 人である。火葬作業ができる職員数の分布をみると、4～5 人が 21%、2 人が 18%、3 人が 17%である。

火葬技術を統括的に管理できる人については、いるが 66%、いないが 17%である。火葬技術を統括的に管理できる人の人数は、平均で 1.8 人である。

表２－１２－３　火葬作業ができる職員数

項目／区分	火葬作業ができる職員数
データ数	318
平均	4.0
最大	27
最小	1

表２－１２－４　火葬作業ができる職員数

項目／区分	火葬作業ができる職員数							合計
	1人	2人	3人	4～5人	6～7人	8人以上	回答なし	
回答数	38	69	65	79	44	23	60	378
割合%	10.1	18.3	17.2	20.9	11.6	6.1	15.9	100.0

表２－１２－５　火葬技術を統括的に管理できる人の有無

項目／区分	火葬技術の統括的に管理できる人				合計
	いる	いない	その他	回答なし	
回答数	249	65	6	58	378
割合%	65.9	17.2	1.6	15.3	100.0

表２－１２－６　火葬技術を統括的に管理できる人がいる場合の人数

項目／区分	いる場合の人数
データ数	243
平均	1.8
最大	7
最小	1

【設問 71】職員の休日（火葬場の休場日とは別に、職員の休日についてお聞きします。）

1　令和 6 年度の年間休日数（最大取得可能数）

2　国民の休日（国民の祝日に関する法律（祝日法）第3条第3項で定められた休日の通称）以外の特別な休日を設定していますか。

3　「4週8休制度」は導入されていますか。

4　休日は次のどれに該当しますか。(複数回答可)

年間休日数は、平均で92.5日である。特別な休日の設定については、設定しているが13%、設定していないが64%である。4週8休制度の導入については、導入しているが43%、導入していないが31%である。休日の種類は、年末年始が33%、休場日が28%。友引日が27%、火葬のない日が20%である。

表２－１２－７　令和6年度の年間休日数（最大取得可能数）

項目／区分	職員の年間休日数（令和6年度）
データ数	209
平均	92.5
最大	356
最小	0

表２－１２－８　特別な休日の設定の有無

項目／区分	特別な休暇の設定			合計
	設定している	設定していない	回答なし	
回答数	48	240	90	378
割合%	12.7	63.5	23.8	100.0

表２－１２－９　4週8休制度の導入

項目／区分	4週8休制度の導入				合計
	導入している	導入していない	その他	回答なし	
回答数	161	117	22	78	378
割合%	42.6	31.0	5.8	20.6	100.0

表２－１２－１０　休日の種類

項目／区分	職員の休日							回答数合計
	休場日	火葬のない日	日曜・祝祭日	年末・年始	お盆	友引日	その他	
回答数	106	75	44	126	12	97	138	378
回答数に対する割合%	28.0	19.8	11.6	33.3	3.2	25.7	36.5	－

【設問 72】職員の部内、部外での教育訓練はどのように取り組んでいますか。(複数回答可)

職員の部内、部外での教育訓練については、事務職員への研修が 25%、民間団体での講習会参加が 22%、管理職への技術研修が 16%である。

表２－１２－１１　職員の部内、部外での教育訓練

項目／区分	職員の部内、部外での教育訓練				回答数合計
	管理職への技術研修	事務職員への研修	民間団体での講習会参加	その他	
回答数	61	96	83	44	378
回答数に対する割合%	16.1	25.4	22.0	11.6	―

【設問 73】火葬場の管理監督体制として火葬場管理者以外に管理責任者を選任していますか。

火葬場管理者以外に管理責任者の選任については、選任しているが 34%、選任していないが 55%である。

表２－１２－１２　火葬場管理者以外に管理責任者の選任

項目／区分	火葬場管理者以外に管理責任者の選任				合計
	選任している	選任していない	その他	回答なし	
回答数	127	207	5	39	378
割合%	33.6	54.8	1.3	10.3	100.0

【設問 75】管理監督体制の一環として部内ミーティングを実施していますか。

部内ミーティングの実施については、実施しているが 38%、実施していないが 43%である。

表２－１２－１３　部内ミーティングの実施

項目／区分	部内ミーティングの実施				合計
	実施している	実施していない	その他	回答なし	
回答数	145	164	14	55	378
割合%	38.4	43.4	3.7	14.6	100.0

【設問 76】火葬場利用者の方々に火葬場のイメージ向上を目指した活動、取組事例等がありますか。(複数回答可)

火葬場のイメージ向上を目指した活動、取組事例等は、アンケート、意見箱等の設置が 35%、ホームページでの情報開示が 29%、葬祭業者とのミーティング、情報交換が 17%であるが、実施していないが 40%もある。

表２－１２－１４　火葬場のイメージ向上を目指した活動、取組事例等

項目／区分	利用者のイメージ向上を目指した活動、取組事例等							回答数合計
	アンケート、意見箱等の設置	広報誌等を利用して各種啓蒙活動	葬祭業者とのミーティング、情報	地域自治会との意見交換会の開催	ホームページでの情報開示	実施していない	その他	
回答数	133	16	63	22	109	151	16	378
回答数に対する割合%	35.2	4.2	16.7	5.8	28.8	39.9	4.2	－

【設問 77】火葬従事者の職場環境の改善、地位の向上を図ることを目的として取り組む活動や実践事例等がありますか。(複数回答可)

職場環境の改善、地位の向上のための活動や実践事例等は、職場環境向上に向けての調査、指導等が 21%であるが、実施していないが 64%もある。

表２－１２－１５　職場環境の改善、地位の向上のための活動や実践事例等

項目／区分	職場環境改善、地位向上等を目指した活動等				回答数合計
	賃金等の実態調査	職場環境向上に向けての調査、指導等	実施していない	その他	
回答数	16	79	242	16	378
回答数に対する割合%	4.2	20.9	64.0	4.2	－

【設問 78】最近、火葬場が大型化し、運営も高度化する傾向があります。住民の理解を得るうえで、適切な運営管理が必要となっており、火葬技術の専門家に管理を委ねるところも広がっていると思われます。これについて、お考えをお聞かせください。

火葬技術の専門家に管理を委ねることへの考えについては、専門技術者を配置すべきが 28%、専門技術者を採用しているが 15%であるが、特に考えていないが 22%である。

表２－１２－１６　火葬技術の専門家に管理を委ねることへの考え

項目／区分	火葬技術の専門家に管理を委ねることへの考え					合計
	専門技術者を配置すべき	専門技術者を採用している	特に考えていない	その他	回答なし	
回答数	104	58	84	81	51	378
割合%	27.5	15.3	22.2	21.4	13.5	100.0

第 13 節　公害対策・労働安全関連

【設問 79】排気筒が低い場合、排ガスの拡散効果が期待できないと言われていることに対してどう思いますか。

排ガスの拡散効果が期待できないとの考えについては、排ガス処理装置があるので問題ないが 36%、基準が無いので問題としていないが 16%であるが、分からないが 22%もある。

表２－１３－１　排気筒が低いので排ガスの拡散効果が期待できないとの考えについて

項目／区分	排気筒が低いので排ガスの拡散効果が期待できないことについて								合計
	排ガス処理装置があるので問題ない	排ガス量が少ないので問題ない	基準値が低いので問題ない	基準が無いので問題としていない	排気筒は大気汚染防止法と同様に高くするよう指導すべき	分からない	その他	回答なし	
回答数	136	15	10	62	16	83	26	30	378
割合%	36.0	4.0	2.6	16.4	4.2	22.0	6.9	7.9	100.0

【設問 80】残骨灰の処理基準が無いが、どのように対応していますか。

残骨灰の処理基準が無いことへの対応については、基準が無いので問題としていないが 21%、有害物質が含まれているので溶融処理など適正に処理すべきが 20%であるが、特に気にしていないも 20%ある。

表２－１３－２　残骨灰の処理基準が無いことへの対応

項目／区分	残骨灰の処理基準が無いことへの対応							合計
	特に気にしていない	六価クロムなどの有害物質は濃度が低いので問題ない	基準が無いので問題としていない	有害物質が含まれているので溶融処理など適正に処理すべき	分からない	その他	回答なし	
回答数	77	19	78	74	62	40	28	378
割合%	20.4	5.0	20.6	19.6	16.4	10.6	7.4	100.0

【設問 81】火葬従事者の作業場所の環境測定はしていますか。

1　「したことがある」とお答えの方、環境測定の項目は何ですか。(複数回答可)

作業場所の環境測定については、したことがあるが 14%であるが、したことがないが 76%もある。環境測定の項目は、粉じんが 63%、騒音が 43%、臭気が 31%である。

表２－１３－３　火葬従事者の作業場所の環境測定

項目／区分	火葬従事者の作業場所の環境測定				合計
	したことがある	したことがない	その他	回答なし	
回答数	51	288	11	28	378
割合%	13.5	76.2	2.9	7.4	100.0

表２－１３－４　環境測定の項目

項目／区分	環境測定の項目						回答数合計
	粉じん	臭気	騒音	アスベスト	分からない	その他	
回答数	32	16	22	11	4	11	51
回答数に対する割合%	62.7	31.4	43.1	21.6	7.8	21.6	－

第 14 節　指定管理者制度について

【設問 82】あなたの火葬場では指定管理者制度を導入していますか。

1　導入してよかったと思われる点は何ですか。(複数回答可)

2　導入した後、何か問題となった点はありますか。(複数回答可)

3　「導入していない」とお答えの方、今後導入を考えていますか。

4　「導入を考えている」とお答えの方、導入により期待することは何ですか。(複数回答可)

5　「導入を考えていない」とお答えの方、その理由は何ですか。(複数回答可)

指定管理者制度については、導入しているが 31%であるが、導入していないが 63%である。導入してよかったことは、市民サービスが向上が 71%、経費節減が 51%、トラブルが減った、対応が迅速が 38 である。導入して問題となったことは、行政との意思疎通がうまくいっていないが 4%であるが、特になしが 85%である。導入していない場合の今後導入の考えについては、導入を考えているが 11%、導入を考えていないが 86%である。導入を考えている場合に期待することは、経費節減を図りたいが 76%、市民サービスを向上させたいが 68%、トラブルを減らしたいが 32%である。導入を考えていない理由については、市民サービスの状況を的確に把握できないが 25%、運営上のトラブルを把握しにくいが 21%、職員の専門性、火葬への理解度を向上することが困難が 16%である。

表２－１４－１　指定管理者制度の導入

項目／区分	指定管理者制度の導入						合計
	導入している	条例では規定導入していない	導入していない	導入を計画している	その他	回答なし	
回答数	118	3	238	2	6	11	378
割合%	31.2	0.8	63.0	0.5	1.6	2.9	100.0

表２－１４－２　導入してよかったと思われる点

項目／区分	導入してよかったと思われる点					回答数合計
	市民サービスが向上	トラブルが減った、対応が迅速	経費節減	特になし	その他	
回答数	84	45	60	9	9	118
回答数に対する割合%	71.2	38.1	50.8	7.6	7.6	－

表２－１４－３　導入して問題となった点

項目／区分	導入して問題となった点						回答数合計
	市民サービスが低下	専門性、質が確保されていない	行政との意思疎通がうまくいっていない	施設の改善が不十分	特になし	その他	
回答数	2	2	5	1	100	8	118
回答数に対する割合%	1.7	1.7	4.2	0.8	84.7	6.8	－

表２－１４－４　導入していない場合の今後導入の考え

項目／区分	導入していない場合の今後導入の考え			回答数合計
	導入を考えている	導入を考えていない	回答なし	
回答数	25	205	8	238
回答数に対する割合%	10.5	86.1	3.4	100.0

表２－１４－５　導入を考えている場合の期待すること

項目／区分	導入を考えている場合の期待すること				回答数合計
	市民サービスを向上させたい	トラブルを減らしたい	経費節減を図りたい	その他	
回答数	17	8	19	9	25
回答数に対する割合%	68.0	32.0	76.0	36.0	100.0

表２－１４－６　導入を考えていない理由

項目／区分	導入を考えていない理由				回答数合計
	市民サービスの状況を的確に把握できない	職員の専門性、火葬への理解度を向上することが困難	運営上のトラブルを把握しにくい	その他	
回答数	52	33	43	113	205
回答数に対する割合%	25.4	16.1	21.0	55.1	100.0

第 15 節　最近の諸問題への対応について

【設問 83】ペースメーカ装着遺体については、どのように対応していますか。(複数回答可)

ペースメーカ装着遺体への対応については、葬祭業者に届け出のお願いが 63%、遺族に届け出のお願いが 37%、一定時間経過するまで点検口を開けないが 25%、事前に取り外しのお願いが 23%である。

表２－１５－１　ペースメーカ装着遺体への対応

項目／区分	ペースメーカ装着遺体への対応							回答数合計
	事前に取り外しのお願い	葬祭業者に届け出のお願い	遺族に届け出のお願い	一定時間経過するまで点検口を開けない	一定時間経過するまでデレッキ操作をしない	ペースメーカ学会に要請	その他	
回答数	86	239	140	94	46	1	31	378
回答数に対する割合%	22.8	63.2	37.0	24.9	12.2	0.3	8.2	－

【設問 84】感染症についてお聞きします。感染症への対応はどのようにしていますか。(複数回答可)

感染症への対応については、葬儀業者と連携が 60%、職員への教育が 37%、保健所と連携が 25%である。

表２－１５－２　感染症への対応

項目／区分	感染症への対応				回答数合計
	保健所と連携	葬儀業者と連携	職員への教育	その他	
回答数	95	228	141	28	378
回答数に対する割合%	25.1	60.3	37.3	7.4	－

【設問 85】感染症への対応として資材の備蓄は行っていますか。(複数回答可)

感染症への対応として備蓄している資材は、マスクが 77%、消毒薬が 71%、手袋が 70%、防護服が 50%である。

表２－１５－３　感染症への対応として資材の備蓄

項目／区分	資材の備蓄							回答数合計
	マスク	手袋	納体袋	消毒薬	ガウン	防護服	その他	
回答数	291	265	64	267	50	190	31	378
回答数に対する割合%	77.0	70.1	16.9	70.6	13.2	50.3	8.2	－

【設問 86】副葬品の制限を行っていますか。

1　「行っている」という場合、どのようなことを行っていますか。(複数回答可)

副葬品の制限については、行っているが 82%である。制限の内容は、葬儀業者への協力要請が 81%、遺族への協力要請が 64%である。

表２－１５－４　副葬品の制限

項目／区分	副葬品の制限			回答数合計
	行っている	行っていない	回答なし	
回答数	309	53	16	378
回答数に対する割合%	81.7	14.0	4.2	100.0

表２－１５－５　副葬品の制限の内容

項目／区分	副葬品の制限の内容				回答数合計
	柩内のチェック	遺族への協力要請	葬儀業者への協力要請	その他	
回答数	32	199	251	27	309
回答数に対する割合%	10.4	64.4	81.2	8.7	100.0

【設問 87】放射線治療器具の装着遺体の火葬について、「注意が必要」などと聞いたことがありますか。

放射線治療器具の装着遺体の火葬には注意が必要については、聞いたことがあるが 15%であるが、聞いたことがないが 79%もある。

表２－１５－６　放射線治療器具の装着遺体の火葬

項目／区分	放射線治療器具装着遺体の火葬			合計
	聞いたことがある	聞いたことがない	回答なし	
回答数	57	298	23	378
割合%	15.1	78.8	6.1	100.0

第 16 節　最後に

【設問 89】特定非営利活動法人日本環境斎苑協会のことはご存知ですか。

日本環境斎苑協会については、知っているし、各種活動に参加しているが 14%、知っているが、特に対応していないが 57%である。

表２－１６－１　特定非営利活動法人日本環境斎苑協会について

項目／区分	特定非営利活動法人日本環境斎苑協会について					合計
	知っているし、各種活動に参加している	知っているが、特に対応していない	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	53	214	85	11	15	378
割合%	14.0	56.6	22.5	2.9	4.0	100.0

【設問 90】特定非営利活動法人日本環境斎苑協会では、毎年、火葬行政担当職員、火葬従事職員等に対する表彰を行っておりますが、ご存知ですか。

火葬行政担当職員、火葬従事職員等に対する表彰については、よく知っており、対象職員がいれば推薦したいが 16%、今まで知らなかったが、対象職員がいれば推薦したいので、詳細を知りたいが 6%であるが、全く知らないが 62%である。

表２－１６－２　火葬行政担当職員、火葬従事職員等に対する表彰

項目／区分	火葬行政担当職員、火葬従事職員等に対する表彰					合計
	よく知っており、対象職員がいれば推薦したい	今まで知らなかったが、対象職員がいれば推薦したいので、詳細を知りたい	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	61	21	233	41	22	378
割合%	16.1	5.6	61.6	10.8	5.8	100.0

【設問 91】特定非営利活動法人日本環境斎苑協会が発行する以下の書籍をご存知ですか。

1　火葬場の建設・維持管理マニュアル
2　火葬概論
3　火葬問題Ｑ＆Ａ

火葬場の建設・維持管理マニュアルについては、購入し、必要な時に読んでいるが 24%、知っているが、読んだことはないが 28%であるが、全く知らないが 40%である。火葬概論については、購入し、必要な時に読んでいるが 18%、知っているが、読んだことはないが 27%であるが、全く知らないが 46%である。

火葬問題Ｑ＆Ａについては、購入し、必要な時に読んでいるが 17%、知っているが、読んだことはないが 25%であるが、全く知らないが 50%である。

表２－１６－３　火葬場の建設・維持管理マニュアル

項目／区分	火葬場の建設・維持管理マニュアル					合計
	購入し、必要な時に読んでいる	知っているが、読んだことはない	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	90	104	150	13	21	378
割合%	23.8	27.5	39.7	3.4	5.6	100.0

表２－１６－４　火葬概論

項目／区分	火葬概論					合計
	購入し、必要な時に読んでいる	知っているが、読んだことはない	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	67	103	175	12	21	378
割合%	17.7	27.2	46.3	3.2	5.6	100.0

表２－１６－５　火葬問題Ｑ＆Ａ

項目／区分	火葬問題Ｑ＆Ａ					合計
	購入し、必要な時に読んでいる	知っているが、読んだことはない	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	63	96	188	10	21	378
割合%	16.7	25.4	49.7	2.6	5.6	100.0

【設問 92】特定非営利活動法人日本環境斎苑協会が開催する以下の研修会等をご存知ですか。

1　火葬技術管理士通信教育（1 級、2 級）
2　総括火葬技術管理者講習会
3　厚生労働省後援　火葬場管理者研修会
4　火葬場指定管理者セミナー
5　全国火葬情報交換会

火葬技術管理士通信教育については、受けたことがあるが 9%、受けてみたいと思っているが 1%、聞いたことがあるが 45%であるが、全く知らないが 37%である。

総括火葬技術管理者講習会については、受けたことがあるが 2%、受けてみたいと思っているが 4%、聞いたことがあるが 49%であるが、全く知らないが 37%である。

火葬場管理者研修会については、受けたことがあるが 9%、受けてみたいと思っているが 3%、聞いたことがあるが 44%であるが、全く知らないが 37%である。

火葬場指定管理者セミナーについては、受けたことがあるが 4%、受けてみたいと思っているが 3%、聞いたことがあるが 47%であるが、全く知らないが 38%である。

全国火葬情報交換会については、受けたことがあるが5%、受けてみたいと思っているが4%、聞いたことがあるが45%であるが、全く知らないが38%である。

表２－１６－６　火葬技術管理士通信教育（1級、2級）

項目／区分	火葬技術管理士通信教育（1級、2級）						合計
	受けたことがある	受けてみたいと思っている	聞いたことがある	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	32	4	170	139	11	22	378
割合%	8.5	1.1	45.0	36.8	2.9	5.8	100.0

表２－１６－７　総括火葬技術管理者講習会

項目／区分	総括火葬技術管理者講習会						合計
	受けたことがある	受けてみたいと思っている	聞いたことがある	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	7	15	184	138	8	26	378
割合%	1.9	4.0	48.7	36.5	2.1	6.9	100.0

表２－１６－８　厚生労働省後援　火葬場管理者研修会

項目／区分	厚生労働省後援　火葬場管理者研修会						合計
	受けたことがある	受けてみたいと思っている	聞いたことがある	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	33	12	166	139	8	20	378
割合%	8.7	3.2	43.9	36.8	2.1	5.3	100.0

表２－１６－９　火葬場指定管理者セミナー

項目／区分	火葬場指定管理者セミナー						合計
	受けたことがある	受けてみたいと思っている	聞いたことがある	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	15	12	176	145	8	22	378
割合%	4.0	3.2	46.6	38.4	2.1	5.8	100.0

表２－１６－１０　全国火葬情報交換会

項目／区分	全国火葬情報交換会						合計
	受けたことがある	受けてみたいと思っている	聞いたことがある	全く知らない	その他	回答なし	
回答数	20	14	171	145	8	20	378
割合%	5.3	3.7	45.2	38.4	2.1	5.3	100.0

厚生労働科学研究
「火葬場の大型化・高度化と火葬需要の増加を踏まえた適切な料金設定の考え方に関する研究」
全国火葬場アンケート調査　調査票

【アンケート調査の趣旨】

特定非営利活動法人日本環境斎苑協会は、地方自治体、火葬炉メーカ、火葬関連メーカ、学識経験者などで構成する団体として、また、厚生労働省のご指導をいただく火葬場に関わる全国団体として、民間団体の期間を含め50年を超える期間活動を続けてきました。

主な業務は、地方自治体の皆様方が、火葬場の設置・管理の際にご参考にしていただく各種マニュアルの作成、見直し、厚生労働科学研究費を受けて行う火葬場に係る諸問題の研究、火葬場に関わる技術者の養成、火葬従事者の顕彰事業などです。

今般、当協会では、令和7年度の厚生労働科学特別研究として、厚生労働省の補助を得て、「火葬場の大型化・高度化と火葬需要の増加を踏まえた適切な料金設定の在り方に関する研究」を実施することとなりました。

この研究の実施に当たっては、まず、地方自治体の火葬場に関し、当協会が従来行ってきたアンケート調査を継続実施するとともに、火葬料金や一般会計繰り入れの動向を把握するとともに、これに加えて、指定都市、中核市を対象として、設備費や維持管理費、人件費などに関し、どのような費用負担の項目で費用を計上しているか、長期の火葬場の建て替え整備の計画をどのような構想としてお考えかなどに関し、アンケート調査を行いたいと考えています。

これまでのアンケート調査において、火葬場の規模が大都市を中心として大型化しており、その管理も高度化し専門職員の確保が求められていることが明らかとなっています。

また、超高齢化の進展に伴い、大都市を中心に、火葬待ちが増加するとともに、これまでの小さな火葬場から近代化し、高度化する火葬場に大きく変わろうとしているのが明らかとなっています。

総務省においても、このような変化に着目し、公共施設（火葬場）の適切な費用計上と将来構想の整備、安定的継続的な管理運営を指導されており、そうした方向が広がっているとお聞きしています。

このアンケート調査は、こうした動向を踏まえ、研究の前提として、変わりゆく公共施設としての火葬場の方向性を明らかにすることを目的としており、総務省、厚生労働省のご指導を得て、実施することとしています。そして、その結果を踏まえて、火葬場に関する費用負担の在り方に関する基本的考え方と適切な運営管理の在り方をまとめたいと考えています。そうした趣旨をお汲み取りいただきどうぞよろしくお願い申し上げます。この研究の成果は、厚生労働省、総務省にご報告するとともに、アンケート調査のデータを含めて公表することといたします。つきましては、大変お忙しいところ、誠に申し訳ありませんが、ぜひご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

【調査票記入上のご注意】

a　本調査票の調査基準日は令和７年４月１日です。
　本調査票のご返送の締切日は**令和７年８月31日**ですので、よろしくお願いします。

b　本調査は、稼動可能な火葬場（最近火葬実績がなくてもよい、炉、排気筒（煙突）、建物の三要素を備えた火葬場）で、市町村、一部事務組合、公益・宗教法人、企業、国立療養所等が経営管理する火葬場ごとにご記入下さい。
　自治会（集落）の共有火葬場は、原則として本調査の対象外ですが、実態が把握でき稼働可能な火葬場については、ご記入下さい。

c　回答方法

◆　記入式設問の回答方法
　設問中のアンダーライン上に、直接、該当する事項・数値をご記入（Excel の場合はご入力）下さい。

◆　選択式設問の回答方法
　選択肢の左側の○（一つを選択しご回答下さい）または□（複数回答可ですので、該当する項目すべてにご回答下さい）に「レ」（Excel の場合は、カーソルを○または□に合わせてマウスの左キーを押して下さい）をご記入下さい。

d　火葬場が複数の場合には、施設数分のアンケート用紙を同封しましたので、個々の火葬場について調査票をご提出ください。万が一、調査票が不足している場合は、ご面倒でもコピーしていただき、設問７以降について、それぞれの火葬場ごとにご記入下さい。

e　参考となる資料等がございましたら、電子メールに添付ファイルとしてお送りいただくか、本調査票に同封した返信用封筒を使って郵送してください。

目　　次

【アンケート調査の趣旨】…… 1

【調査票記入上のご注意】…… 1

第１　調査票をご記入いただいた方について…… 3

第２　行政区域内の埋火葬【設問１～６】…… 3

第３　火葬場の概要、経緯、構成、機能【設問７～32】…… 5

第４　火葬場の利用実績（令和6年度の利用実績をお答え下さい。）【設問33～35】…… 13

第５　火葬場の火葬炉設備（人体炉についてのみお答え下さい。）【設問36～41】…… 14

第６　残骨灰、集じん灰等の処理【設問42～48】…… 20

第７　風習、慣習等について【設問49～51】…… 22

第８　火葬場の整備費【設問52】…… 23

第９　火葬場の収入、支出（令和6年度実績でご記入下さい。）【設問53～56】…… 24

第10　火葬手数料、施設利用料【設問57～65】…… 25

第11　大規模災害時の火葬炉の運転【設問66～67】…… 27

第12　火葬場の運営管理、職員数、休日等【設問68～78】…… 28

第13　公害対策・労働安全関連【設問79～81】…… 31

第14　指定管理者制度について【設問82】…… 32

第15　最近の諸問題への対応について【設問83～88】…… 33

第16　最後に【設問89～93】…… 35

提出先・問合せ先、提出方法…… 38

第１　調査票をご記入いただいた方について

１　住　所〒　　－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２　所　属＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３　電話(内線)＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿（　　）、FAX＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿

４　E-mail＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

第２　行政区域内の埋火葬

【設問１】行政区域内人口（令和７年３月 31 日または４月１日現在）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

【設問２】令和６年度（令和６年４月１日～令和７年３月 31 日）の埋火葬実績

（一部事務組合等の場合は構成市町村の合計でお答え下さい。）

１　死亡者数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

２　火葬数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

３　埋葬数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

【設問３】行政区域内の火葬場数

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿箇所

【設問４】都道府県で広域火葬計画の策定を行っていますか。

○　策定している

○　策定していない

【設問５】災害時を想定して各種資材の協定はどのようにしていますか。（複数回答可）

□　葬儀資材について協力し合っている

□　火葬燃料について協力し合っている

□　柩について協力し合っている

□　その他（　　）

【設問６】災害時の人的協力体制についてお答えください。

1　火葬場ＯＢの応援体制

○　有り

○　無し

2　火葬炉メーカの支援体制

○　有り

○　無し

3　都道府県内の他の火葬場からの支援体制

○　有り

○　無し

4　その他、人的協力体制があればお答えください。

（　　）

≪お願い≫設問３で２箇所以上とご記入の方は、次ページ以降の設問について、それぞれの火葬場ごとにご記入下さい。

第３　火葬場の概要、経緯、構成、機能

（前ページの設問３で２施設以上とご記入の方は、本ページ以降の設問について、それぞれの火葬場ごとにご記入下さい。）

【設問７】火葬場の名称

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【設問８】経営（設置、管理、運営）主体はどれですか。

○　市町村　　⇒　**（設問 10 へお進み下さい）**

○　一部事務組合等

○　企業　　⇒　**（設問 10 へお進み下さい）**

○　公益・宗教法人　　⇒　**（設問 10 へお進み下さい）**

○　国・その他（　　）　　⇒　**（設問 10 へお進み下さい）**

【設問９】一部事務組合等の構成をお答えください。

１　構成市町村数＿＿＿＿＿＿市、＿＿＿＿＿＿町、＿＿＿＿＿＿村

２　市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※パンフレットや利用案内等の資料がございましたら、本アンケートと併せてお送り下さい。

【設問 10】火葬場の所在地

〒　　－　　　都道府県名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

市区町村～番地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿FAX＿＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿

ご担当者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、フリガナ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【設問 11】火葬炉数

１　人体炉＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿基（うち大型炉＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿基）

２　汚物（胞衣）炉＿＿＿＿＿＿＿＿基

３　動物炉＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿基

４　増設スペース＿＿＿＿＿＿＿＿基分

【設問 12】現在の火葬場の建物の竣工年月

○　昭和　　○　平成　　○　令和　＿＿＿＿年＿＿＿＿月、経過年数＿＿＿＿年

【設問 13】現在の火葬場の建設は建替えでしたか、新設でしたか。

○　建替え

○　既存施設と近隣施設との統廃合建替え

○　新設　　⇒　**（設問 16 へお進み下さい）**

【設問 14】建替え・既存施設と近隣施設との統廃合建替えの場合の建設場所についてお答えください。

○　既存敷地内での建替え

○　隣接地での建替え

○　近接地での建替え

○　移転しての建替え

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 15】建替え、既存施設解体後の跡地利用についてお答えください。

○　駐車場として利用

○　緑地・公園として利用

○　その他公共施設として利用（　　）

○　解体せずに現況のまま存置

○　更地にして遊休地として将来計画に備える

○　民間に売却

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 16】現在の建物は、設問 12 の竣工以降に増築・改築しましたか。

○　増築・改築した

○　していない　　⇒　**（設問 18 へお進み下さい）**

【設問 17】増築・改築はいつですか。（増築、改築のいずれかに印を付けて、実施年、建物名をご記入下さい）

1回目　○　増築　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年（建物名＿＿＿＿＿＿）

　　○　改築　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年（建物名＿＿＿＿＿＿）

2回目　○　増築　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年（建物名＿＿＿＿＿＿）

　　○　改築　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年（建物名＿＿＿＿＿＿）

３回目　○　増築　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年（建物名＿＿＿＿＿＿）

○　改築　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年（建物名＿＿＿＿＿＿）

※　４回目以降は別紙にご記入の上、本アンケートと併せてお送り下さい。

【設問 18】現在の火葬炉は、設問 12 の竣工以降に増設、更新しましたか。

○　増設・更新した

○　していない　　⇒　**（設問 21 へお進み下さい）**

【設問 19】火葬炉の基数の変化

竣工時（設問 12 の年月）＿＿＿＿＿＿基　→　現在（令和 7 年 4 月）＿＿＿＿＿＿基

【設問 20】火葬炉の増設・更新はいつですか。（増設、更新のいずれかに印を付けて、実施年、基数をご記入下さい）

１回目　○　増設　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿基

○　更新　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿基

２回目　○　増設　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿基

○　更新　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿基

３回目　○　増設　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿基

○　更新　：　○　昭和　○　平成　○　令和　＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿基

※　４回目以降は別紙にご記入の上、本アンケートと併せてお送り下さい。

【設問 21】都市計画決定はしましたか。

○　決定済

○　決定していない

【設問 22】敷地面積、建築面積等

1　敷地面積＿＿＿＿＿＿＿＿㎡

2　建築面積＿＿＿＿＿＿＿＿㎡（地上＿＿＿＿＿＿階、地下＿＿＿＿＿＿階）

3　延床面積＿＿＿＿＿＿＿＿㎡

4　駐車場面積＿＿＿＿＿＿＿＿㎡（大型車＿＿＿＿＿＿台、乗用車＿＿＿＿＿＿台）

5　庭園等面積＿＿＿＿＿＿＿＿㎡

6　緩衝緑地面積＿＿＿＿＿＿＿＿㎡（周辺住民等に火葬場を見えにくくするための緑地）

7　その他面積（主な用途は何ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）＿＿＿＿＿＿㎡

【設問 23】建物の構造は次のどれですか。（複数回答可）

□　鉄筋コンクリート造

□　鉄骨コンクリート造

□　鉄骨鉄筋コンクリート造

□　鉄骨造

□　簡易耐火構造

□　木造

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 24】建物内の施設は次のどれに該当しますか。

○　火葬だけの施設

○　火葬と待合が行える施設

○　火葬と待合と葬儀が行える施設

【設問 25】主な施設の有無、面積等

（該当する施設、部屋等がなければ空欄にして、次にお進み下さい。）

1　火葬部門

1-1　炉室（火葬炉が設置された部屋）は＿＿＿＿＿＿階＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㎡

1-2　機械室（排ガス処理装置等が設置された部屋）は＿＿＿＿＿＿階＿＿＿＿＿＿㎡

1-3　告別室（遺体と最後のお別れをする部屋）は有りますか。

○　有り＿＿＿＿＿＿室、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㎡

○　無し

1-4　収骨室（火葬後、遺族等が焼骨を骨壷等に納める部屋）は有りますか。

○　有り＿＿＿＿＿＿室、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㎡

○　無し

2　待合部門

2-1　待合室（火葬中に遺族等が待つ部屋）は有りますか。

○　有り

○ 無し　⇒　**（３へお進み下さい）**

2-2　有りの場合、和室、洋室どちらですか。（複数回答可）

□ 和室＿＿＿＿＿室、＿＿＿＿＿＿＿＿㎡

□ 洋室＿＿＿＿＿室、＿＿＿＿＿＿＿＿㎡

3　式場部門

3-1　式場（葬儀を行う部屋）は有りますか

○ 有り＿＿＿＿＿室、1室当り＿＿＿＿＿＿㎡（＿＿＿＿＿＿席）

＿＿＿＿＿＿㎡（＿＿＿＿＿＿席）

＿＿＿＿＿＿㎡（＿＿＿＿＿＿席）

＿＿＿＿＿＿㎡（＿＿＿＿＿＿席）

＿＿＿＿＿＿㎡（＿＿＿＿＿＿席）

○ 無し

※　６室以上は別紙にご記入の上、本アンケートと併せてお送り下さい。

【設問 26】施設の延命化のための部分改修として、次の内容は実施しましたか。（複数回答可）

□ 照明のＬＥＤ化

□ 屋根、屋上の防水修繕

□ バリアフリー化対策

□ 待合室の洋式化

□ トイレの洋式化

□ その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 27】火葬場の休場日（条例等に定められた公休日）

1　令和６年度実績で休場日は何日でしたか。＿＿＿＿＿＿＿＿日

2　休場日の内訳をお答え下さい。（複数回答可）

□ 休場日の規定が無い

□ 年末

□ 年始

□ 友引日

□　日曜日

□　祝祭日

□　お盆

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

2-1　年末の休場日はどの日ですか。（複数回答可）

□　12 月 29 日

□　12 月 30 日

□　12 月 31 日

2-2　年始の休場日はどの日ですか。（複数回答可）

□　1 月 1 日

□　1 月 2 日

□　1 月 3 日

2-3　友引日の休場日はどの日ですか。

○　すべての友引日

○　友引日の一部

2-4　日曜日の休場日はどの日ですか。

○　すべての日曜日

○　日曜日の一部

2-5　祝祭日の休場日はどの日ですか。

○　すべての祝祭日

○　祝祭日の一部

2-6　お盆の休場日はどの日ですか。（複数回答可）

□　8 月 13 日

□　8 月 14 日

□　8 月 15 日

□　8 月 16 日

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 28】火葬場の周辺環境は次のどれでしょうか。（複数回答可）

□　墓地

□　山林

□　農地

□　住宅

□　工場

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 29】火葬場から最も近い住宅までの距離は次のどれに該当しますか。

○　50ｍ未満

○　50～100ｍ未満

○　100～200ｍ未満

○　200～300ｍ未満

○　300～400ｍ未満

○　500ｍ以上

【設問 30】現在の火葬場に対して周辺住民からの苦情は有りますか。

○　有り

○　無し　　⇒　**（設問 31 へお進み下さい）**

1　「有り」の場合、苦情の原因は何だと思いますか。（複数回答可）

□　悪臭

□　煤煙、黒煙

□　騒音、振動

□　交通公害

□　施設が古い

□　霊柩車の走行

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 31】現在の火葬場に対して、建替え、部分改修の必要性はありますか。

○　必要が有る

○　必要無い　　⇒　**（設問 32 へお進み下さい）**

1　「必要が有る」というのは、建替えですか、部分改修ですか。

○　建替え

○　部分改修

2　「建替え」または「部分改修」の理由は何ですか。（複数回答可）

□　施設の老朽化

□　能力不足

□　故障が多く、修理費がかさむ

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

3　施設の延命化のための部分改修として、次の内容は必要ですか。（複数回答可）

□　照明のＬＥＤ化

□　屋根、屋上の防水修繕

□　バリアフリー化対策

□　待合室の洋式化

□　トイレの洋式化

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 32】自治体（一部事務組合等を含む）の火葬場として過不足はありますか。

○　不足している

○　不足していない　　⇒　**（設問 33 へお進み下さい）**

1　「不足している」のはどのような理由ですか。（複数回答可）

□　死亡者数の増加

□　施設が老朽化している

□　機能が劣化している

2　「不足」の場合の対応はどのようにしていますか。（複数回答可）

□　増設を検討している

□　新施設を検討している

□　稼働日を増やす

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

第４　火葬場の利用実績（令和６年度の利用実績をお答え下さい。）

【設問 33】年間の火葬場の利用人数、利用目的別人数をお答えください。

1　管内利用者数　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

1-1　ご遺体の火葬　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

1-2　動物の火葬　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

1-3　その他　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

2　管外利用者数　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

2-1　ご遺体の火葬　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

2-2　動物の火葬　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

2-3　その他　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

3　合計利用者数　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人　（１＋２）

3-1　ご遺体の火葬　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人　(1-1＋2-1)

3-2　動物の火葬　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人　(1-2＋2-2)

3-3　その他　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人　(1-3＋2-3)

【設問 34】ご遺体の火葬件数、稼働日数等をお答え下さい。

1　火葬件数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿件（小人、死産児は含み、汚物・動物は含まない。）

内訳は、管内件数＿＿＿＿＿＿＿＿件

管外件数＿＿＿＿＿＿＿＿件

2　年間稼動日数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿日

年間稼働時間数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿時間【Ａ】

年間稼働可能時間数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿時間【Ｂ】

稼働率＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿％【Ａ／Ｂ×100】

3　１日当たりの最大受入件数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿件

4　火葬炉１基１日当たり最大体数＿＿＿＿＿＿＿＿体/基･日（回転）

5　時間帯割合（年度平均）

9～11 時＿＿＿＿＿＿＿＿％

11～13 時＿＿＿＿＿＿＿＿％

13～15 時＿＿＿＿＿＿＿＿％

15～17 時＿＿＿＿＿＿＿＿％

その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）＿＿＿＿＿＿＿＿％

【設問 35】動物炉の火葬件数、稼働日数等をお答え下さい。

1　火葬件数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿件

内訳は、管内件数＿＿＿＿＿＿＿＿件

管外件数＿＿＿＿＿＿＿＿件

2　年間稼動日数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿日

年間稼働時間数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿時間【A】

年間稼働可能時間数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿時間【B】

稼働率＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿％【A／B×100】

3　1 日当たりの最大受入件数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿件

第５　火葬場の火葬炉設備（人体炉についてのみお答え下さい。）

【設問 36】保冷庫（ご遺体を火葬する前に冷やして保管する装置）についてお聞きします。

1　保冷庫は有りますか。

○　有り

○　無し　　⇒　**（設問 37 へお進み下さい）**

2　火葬までの待機時間は、最大＿＿＿＿＿＿＿＿時間　または＿＿＿＿＿＿＿＿日間

3　保冷庫の数は、ご遺体＿＿＿＿＿＿＿＿体分

【設問 37】主燃焼炉についてお聞きします。

1　火葬 1 体当たりの平均燃焼時間は何分程度ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿分程度

2　前室（冷却室）は有りますか。（複数回答可）

□　有り＿＿＿＿＿＿＿＿基

□　無し＿＿＿＿＿＿＿＿基　　⇒　**（３へお進み下さい）**

2-1　平均的な冷却時間は何分程度ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿分程度

2-2　目安とする冷却温度は何℃程度ですか。夏期＿＿＿＿＿＿℃、冬期＿＿＿＿＿＿℃

3　主燃焼炉の型式は何ですか。（複数回答可）

□　台車式＿＿＿＿＿＿＿＿基

□　ロストル式＿＿＿＿＿＿基　　⇒　（５へお進み下さい）

□　その他＿＿＿＿＿＿＿＿基　　⇒　（６へお進み下さい）

4　台車式の場合、炉内台車の上面耐火材は分割式ですか。（複数回答可）

□　分割式である

□　分割式ではない

□　両方ある

4-1　上面耐火材の種類は何ですか。

○　キャスタブル耐火物

○　一般耐火レンガ

○　中性耐火レンガ

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

4-2　枢支持台の材質は何ですか。　　⇒　回答後は６へお進み下さい。

○　ステンレス製

○　鉄製

○　耐火レンガ

○　カーボランダム製

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

5　ロストル式の場合、ロストルの材質は何ですか。

○　ステンレス製

○　鉄製

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

6　主燃焼炉の使用燃料は何ですか。

○　灯油

○　重油

○　都市ガス

○　プロパンガス

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

6-1　主燃焼炉と再燃焼炉の燃料は同じですか。

○　同じ　　⇒　**（7へお進み下さい）**

○　違う

6-2　再燃焼炉の燃料は何ですか。（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

7　火葬1体当たりの平均燃料使用量（主燃･再燃の合計）はどの程度ですか。

7-1　灯油又は重油の場合＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ℓ

7-2　都市ガス又はプロパンガスの場合＿＿＿＿＿＿＿＿＿m^3

8　主燃焼炉の温度計は設置されていますか。

○　設置してある

○　設置してない　　⇒　**（9へお進み下さい）**

8-1　設置してある場合、温度範囲はどの程度ですか。

＿＿＿＿＿＿＿℃～＿＿＿＿＿＿＿℃（バーナ着火直後を除く）

9　火葬1体あたりの平均排ガス量はどの程度ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿m^3N

10　火葬中のデレッキ操作（炉裏側の点検口からデレッキ棒を入れる）を行っていますか。

○　行っている

○　行っていない　　⇒　**（設問38へお進み下さい）**

10-1　行っている場合、デレッキ操作の目的は何ですか。（複数回答可）

□　副葬品等の除去

□　遺体の燃焼促進

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問38】再燃焼炉についてお聞きします。

1　再燃焼炉は有りますか。（複数回答可）

□　有り＿＿＿＿＿＿＿基

□　無し＿＿＿＿＿＿＿基　　⇒　**（設問39へお進み下さい）**

1-1　再燃焼炉が有る場合、その型式は何ですか。（複数回答可）

□　直上型再燃焼炉（主燃焼炉と再燃焼炉が 1 対 1）＿＿＿＿＿基
⇒　（２へお進み下さい）

□　分離型再燃焼炉（主燃焼炉の後段に再燃焼炉を増設した事例が多く、複数の主燃焼炉に 1 基の再燃焼炉が対応）＿＿＿＿＿基

1-2　分離型の場合、主燃焼炉＿＿＿＿＿基に対して再燃焼炉 1 基（主：再の基数比）

2　再燃焼炉の容量、最大排ガス発生時での滞留時間を知っていますか。

○　容量、最大排ガス発生時での滞留時間を知っている。

○　容量は知っているが、最大排ガス発生時での滞留時間は知らない。

○　最大排ガス発生時での滞留時間は知っているが、容量は知らない。

○　容量、最大排ガス発生時での滞留時間を知らない。　**⇒　（３へお進み下さい）**

2-1　容量は＿＿＿＿＿＿＿m^3

2-2　最大排ガス発生時での滞留時間＿＿＿＿＿＿＿秒

3　再燃焼炉の温度計は設置されていますか。

○　設置してある

○　設置してない　**⇒　（３へお進み下さい）**

3-1　設置してある場合、温度範囲はどの程度ですか。

＿＿＿＿＿＿＿℃～＿＿＿＿＿＿＿℃（バーナ着火直後を除く）

4　再燃焼バーナは設置されていますか。

○　設置してある

○　設置していない　**⇒　（設問 39 へお進み下さい）**

4-1　再燃焼バーナの点火はいつですか。

○　主燃焼炉点火前＿＿＿＿＿＿＿分

○　主燃焼炉点火後＿＿＿＿＿＿＿分

○　主燃焼炉点火と同時

4-2　再燃焼バーナの消火はいつですか。

○　主燃焼炉点火後＿＿＿＿＿＿＿分

○　主燃焼炉消火前＿＿＿＿＿＿＿分

○　主燃焼炉消火後＿＿＿＿＿＿＿分

○　主燃焼炉消火と同時

【設問 39】排ガス処理装置についてお聞きします。
（再燃焼炉出口以降の装置であり、残骨灰真空移送装置関連設備ではありません。）

1　火葬炉と排ガス処理装置の関係はどれですか。

○　各炉が単独に火葬できる

○　各炉が単独に火葬できない（1 つの排ガス処理装置を複数の火葬炉で共有）

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

2　大規模災害時（非常時）を前提として、同時に運転できるのは何炉までですか。（非常時だから、告別室、待合室、収骨室等の室数やスペースの問題は考慮しないで）

＿＿＿＿＿＿＿炉まで

3　排ガスの排気方式は何ですか。（複数回答可）

□　強制排気方式＿＿＿＿＿＿＿基

□　自然排気方式＿＿＿＿＿＿＿基

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）＿＿＿＿＿＿＿基

4　排ガス冷却装置は有りますか。

○　有り

○　無し　　**⇒　（５へお進み下さい）**

4-1　有りの場合、排ガス冷却装置 1 基につき再燃焼炉＿＿＿＿＿＿基が対応している。

4-2　排ガス冷却装置の方式は何ですか。（複数回答可）

□　空気混合希釈方式＿＿＿＿＿＿＿＿基

□　水冷式熱交換器方式＿＿＿＿＿＿＿＿基

□　空冷式熱交換器方式＿＿＿＿＿＿＿＿基

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）＿＿＿＿＿＿＿基

5　集じん装置は有りますか。

○　有り

○　無し　　**⇒　（設問 40 へお進み下さい）**

5-1　有りの場合、その型式は何ですか。（複数回答可）

□　バグフィルタ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿基

□ 電気集じん器＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿基

□ マルチサイクロン＿＿＿＿＿＿＿＿基

□ バグフィルタ以外のフィルタ方式＿＿＿＿＿＿＿＿基

□ その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）＿＿＿＿＿＿＿＿基

5-2 集じん装置における排ガス温度は何℃で管理していますか。＿＿＿＿＿＿＿＿℃

5-3 その温度測定箇所はどこですか。集じん装置の前ですか、後ですか。

○ 前

○ 後

5-4 集じん装置の清掃頻度はどの程度ですか。

＿＿＿＿＿＿回/年、又は1回/（＿＿＿＿＿＿）年

5-5 集じん装置の清掃は誰が行いますか。

○ 専門業者

○ 火葬場管理職員

○ その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

6 集じん装置の後に高度排ガス処理装置が有りますか。

○ 有り

○ 無し ⇒ **（設問37へお進み下さい）**

6-1 「有り」の場合、その方式は何ですか。（複数回答可）

□ 触媒（ダクト内に設置されているものも含みます）

□ 活性炭吸着

□ 湿式洗浄

□ その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問40】排気筒（煙突）についてお聞きします。

数量＿＿＿＿＿＿＿＿本、GL（地上）からの高さ＿＿＿＿＿＿＿＿m

【設問41】排ガスの測定は行っていますか。（複数回答可）

□ ダイオキシン類の測定は定期的に実施している。頻度は1回/（＿＿＿＿＿＿）

□ 水銀・六価クロムの測定は定期的に実施している。頻度は1回/（＿＿＿＿＿＿）

□　ばいじん等の測定は定期的に実施している。頻度は１回/（＿＿＿＿＿＿＿＿）

□　施設が完成した引渡性能試験で実施しただけ

□　全く行っていない

□　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

第６　残骨灰、集じん灰等の処理

残骨灰：火葬後に、台車上あるいはロストル式の骨受け皿に残った骨灰で、収骨する骨以外の骨灰を示します。

集じん灰：火葬の排ガスに含まれるばいじん等が集じん装置で捕捉され、あるいは煙道に残留し、清掃によって排出される灰を示します。

【設問 42】残骨灰と集じん灰を分別していますか。

○　分別している

○　分別していない

【設問 43】残骨灰、集じん灰の発生量を把握していますか。

○　把握している

○　把握していない　　⇒　**（設問 44 へお進み下さい）**

１　把握している場合、それぞれの発生量をお答え下さい。

残骨灰＿＿＿＿＿＿＿kg/年、集じん灰＿＿＿＿＿＿＿kg/年

【設問 44】残骨灰はどのように処理処分していますか。

○　専門業者に委託している

○　自ら処理処分している　　⇒　**（設問 45 へお進み下さい）**

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

１　「専門業者に委託している」場合、処理処分状況の確認はしていますか。

○　処理工場、最終処分地まで確認している

○　処理工場は確認したが、最終処分地まで確認していない

○　書面で確認している

○　確認していない

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

2　専門業者の選考方法は何ですか。

○　複数業者による競争入札

○　随意契約

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

2-1　委託費用は有償ですか、無償ですか。

○　有償（処理費用を支払っている）

○　無償（処理費用を支払っていない）　　**⇒　（３へお進み下さい）**

2-2　有償の場合の金額はどのようですか。

○　入札の最低価格を設定している。

○　１円

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

3　含有する有価物についてはどのようにしていますか。**⇒　回答後は設問 45 へお進み下さい。**

○　有価物相当額を返納させている

○　委託費に含まれると考え、返納させていない

○　含まれる有価物相当額が分からないので、返納させられない

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 45】「残骨灰を自ら処理している」場合、処理方法は何ですか。

○　安定化処理（薬剤、セメントによる不溶化処理等）

○　高温処理（加熱脱塩素化、溶融処理等を含む）

○　そのまま埋立

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

【設問 46】集じん灰はどのように処理処分していますか。

○　専門業者に委託している

○　自ら処理処分している　　**⇒　（設問 47 へお進み下さい）**

○　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

1　「専門業者に委託している」場合、処理処分状況の確認はしていますか。